

近世初期上流武家における贈答染織品の実態に関する研究

A study on the actual situation of the exchange-of-presents
dyeing-and-weaving in an early modern upper class samurai family

西井智美

Satomi NISHII

1. はじめに

「贈答」とは、物をおくったり、そのお返しをしたりすることをいう¹。日本において、贈答にあたる物のやりとりはいつごろから始まったのか、その定説はないものの²、民俗学の研究では、中元や歳暮等の贈答をやりとりする習慣は、中世の武家社会においてすでに成立していたといわれている³。

室町時代末から安土桃山時代の群雄割拠の時代を経て、太平の世を迎える江戸時代まで、武家社会では身分や家格の上下が入れ替わるということが多々あった。このような時代において、染織品はどのように贈答に用いられ、またどのような役割を果たしてきたのであろうか。

2. 先行研究

近世初期上流武家の贈答染織品については、徳川義宣氏の研究が知られている。徳川氏は、現存する徳川家康所用衣服の伝来を基に、それらの多くが家康から家臣などへの下賜品であったとし、更にそれらに対して家康が実際に着用したものかどうか、肌に近い衣服であるかどうか、紋付であるかどうかによって三段階の格付を行っている⁴。長崎巖氏の研究においても、徳川氏の研究を踏まえながら、徳川家康所用衣服の伝承を明らかにし、その作品の歴史的な位置付けを明らかにしている⁵。この他、作品

個々の由来や伝承、所用者を明らかにするための研究は数多く行われてきた。

また、近世初期の舶載染織品の研究からも、当時の贈答染織品について窺い知る事が出来る。高山知子氏の研究は、『平戸オランダ商館日記』や『仕訳帳』等を通じて、日蘭貿易における輸入染織品を調査しているが、その中で平戸オランダ商館から、徳川幕府や平戸藩主等へ献上された舶載染織品の種類や数量を明らかにしている⁶。

以上のように、近世初期上流武家の贈答染織品に関する研究は、個々の作品の由来を明らかにするためのものや、貿易に関連するものが中心であり、近世初期武家社会における贈答行為そのものを総合的に検討した研究はいまだ行われていない。

3. 目的と方法

本研究では先達による作品研究や舶載染織品の研究を踏まえ、これまでなされてこなかった、近世初期武家社会における下賜・献上を含む贈答染織品について、その実態を明らかにすることを目的とする。

本研究で対象としたのは、近世初期の武将の中でも遺品が比較的多く現存する武将であり、なおかつ、古文書において贈答の様子を知ることのできる以下の5名である(表1)。

彼らに関する4件の古文書のうち、『信長公

表1 研究の対象とした人物及び使用した文献

武将	生没年	文献	著者・編者	成立年
織田信長	1534～ 1582	『信長公記』	太田牛一	1621頃
前田利家	1538～ 1599	『利家夜話』	村井長明	1603～44
豊臣秀吉	1537～ 1598	『太閤記』	小瀬甫庵	1626
徳川家康	1542～ 1616	『東照宮御実紀』(『徳川実紀』のうち)	成島司直ら	1849
徳川秀忠	1579～ 1631	『台徳院殿御実紀』(『徳川実紀』のうち)	〃	〃

記』⁷、『利家夜話』⁸、『太閤記』⁹はその武将に仕えた家臣である人物が執筆をしたもので、主人の活躍に関して多少の誇張や修正があると考えられるものの、側に仕えて日々書き綴った日記的な性格を持つ。文献の成立年代と記述された武将の生没年も比較的近く、従って染織品の記述に関して信憑性が高いと考えられる。一方、『徳川実紀』¹⁰は江戸時代後期に成立した文献ではあるが、当時の公用日記をもとに天文年間以降の出来事が時間を追って記述されている。徳川十五代すべての将軍について記された大部の著作であるが、本研究では、戦乱の時期を生きた徳川家康、秀忠に関する記述である、『東照宮御実紀』、『台徳院殿御実紀』及び、『附録』を調査の対象とした。

以上4件5種類の文献に見られる染織品に関する記述を整理し、贈答染織品について分析及び考察を行なった。彼らは、互いに天下統一を目指し切磋琢磨しあった関係である一方で、時期によって、主従関係も結んでいたことから、相互に贈答のやりとりがあったと推測される。また、展覧会図録等に掲載されている現存遺品の情報も、文献資料を補完するものとして用いた。

4. 結果と考察

5種類の日記類には、その分量は異なるものの、贈答に関する詳細な記録が多く残されている。日記類において贈答に関する記述が多い理由は、当時の武家の日常生活において贈答行為が重要な意味を持つと考えられていたからだ

と推測される。当時の贈答は主に年中行事や通過儀礼等の特別な晴れの日に取り交わされる。その際の贈答の品として、染織品が多く用いられている。

これら5種類の文献を見渡してみると、主に以下の4つの目的で贈答が行われていることが分かった(表2)。

- ・武功による褒章としての贈答 47件
- ・通過儀礼や年中行事での贈答 100件
- ・交際や挨拶等による贈答 349件
- ・交易による贈答 32件
- ・その他の贈答 75件

次節以下では、各贈答について、引用文を提示しながら検討を進めて行きたいと思う。

4-1. 武功による褒章としての贈答

室町時代より続く戦乱の様子が記録されている各文献には、いずれにおいても、戦場での記述があり、戦での武功による褒章としての染織品の贈与が見られた(表2: 番号1～47)。例えば『利家夜話』には、

一 長篠合戦の時信長公御鐵炮三千挺也利家公佐々内藏介鐵富平左衛門などを御下知被成候由其時敵の物頭朱武者罷通候を利家言を掛其儘太刀討被成候處御向すねに志たゝか疵御負候處敵も手負候故引行申候を村井又兵衛此山を見て追討川中にて太刀勝負仕終に朱武者の首を取申候其時又兵衛ひ甲の眞庇を切破られ餘る太刀唇に當り血留りかね申候其時信長公御直に御樂被下候信長公より御具足羽折拜領仕候由度々御意に候¹¹

という記事が見える。ここでいう具足羽織とは、具足を着用する際の羽織、すなわち陣羽織のことである。長篠の合戦の際に手柄を立てた村井又兵衛が太刀傷を負った事に対し、信長から直に薬と陣羽織が下賜された様子が記されている。

また、『信長公記』では、

岩成主税頭 城中を懸出候則兩人としてたて
出し候切てまいり候を 永岡兵部大輔臣下
下津権内申者組討に頸を取高島へ持参候て頸
懸御目に高名無比類の旨被成御感忝もめされ
たる御道服を被下面目の至冥加の次第也何方
も属御存分¹²

と見える。

当時、信長と不仲だった足利義昭の命で、淀
の城へ立て籠もっていた岩成友道のもとへ、信
長の家臣である細川藤孝が攻め入った。岩成友
道が城より飛び出て藤孝に切りかかっていたと
ころ、細川藤孝の家来、下津権内が組討で友道
の首をとった。この首を高島に在陣中の信長の
もとへ持参したところ、信長が「無類の手柄だ」
とその武功を賞賛し、着用していた胴服を下賜
したと記している。

また、『太閤記』では、

母もよのつねの女姓には、似気なく、武のみ
ちにかしこき事一かたならず見へしとなり。鹿
助に与し侍る人々に、^{くみ}帷子、或^{かたばら}筒服、或^{あるいはドウブク}肩衣、^{カタギス}
袴、^{てのごひ}手巾やうの物を送りしかば、鹿助が下知に
附ぬる事、^{つき}骨節^{コツセツ}の相救^{あひスクウ}が如し。¹³

と記されている。武将同士の贈答ではないが、
秀吉の家臣山中鹿介の母が、息子に仕える家臣
に、戦の労をねぎらい、肩衣や胴服等の衣服を
渡している様子を伺うことができる。

『台徳院殿御実紀』では、

蜂須賀阿波守至鎮茶磨山御陣に召て。今度軍
功を褒せられ。長子千松丸御あやかり申べき
爲とて。御上帶をとかせ給ひ。御肩衣袴并金
三百兩千松に遣はすべしとて下さる。其家人
稲田修理。其子九郎兵衛。祖父宗心。林道感。
山田織部佑。樋口内藏助。岩田七左衛門。森
甚大夫も見え奉り。修理へ御感状に元重の御刀
添て給ひ。九郎衛に御感状に兼光の御刀
添て給ひ。宗心。道感へ時服一襲。金十枚

づゝ。甚五兵衛へ御感状に陣羽織をそへて給
ひ。甚大夫へ御感状に時服一襲そへて給ひ。
七左衛門に御感状に陣羽織そへて給ひ。内藏
助。織部佑へも御感状を給ふ。¹⁴

とある。大坂冬の陣において蜂須賀至鎮が活躍
し、軍功をあげたため、秀忠は蜂須賀至鎮の息
子や家老である稲田修理亮、その子更には家臣
にまで衣服やその他を下賜した場面である。

以上のように、武功の褒章や、戦での労をね
ぎらった場面での染織品のやりとりは、主君か
ら家臣への下賜・贈与であることが多かった。
また、その際に贈られる染織品は、胴服や陣羽
織等の戦に関係のあるものが多い。織田信長が
六角義賢へ下賜したと言われている茶地桐紋付
小紋染革胴服（図1）や、豊臣秀吉が家臣であ

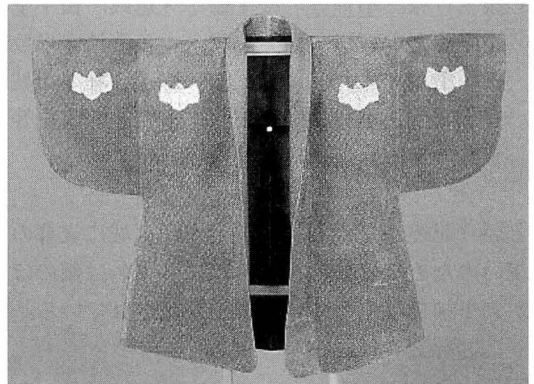


図1 織田信長所用 茶地桐紋付小紋染革胴服
上田市立博物館蔵 室町時代16世紀

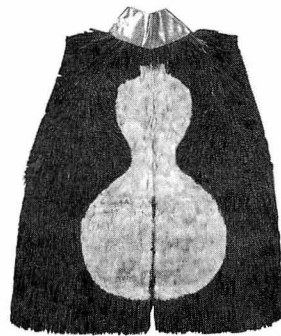


図2 豊臣秀吉所用 瓢紋烏毛陣羽織
個人蔵 桃山時代16世紀

る伊木忠次に下賜した瓢紋鳥毛陣羽織(図2)は、一日で主君からの下賜品と分かり、両者にとっては名誉この上なかったと考えられる。

4-2. 年中行事や通過儀礼での贈答

武家社会において、中元や歳暮の贈答が中世より行われていた事は前述したが、本研究の対象である、近世初期上流武家社会においても年中行事や通過儀礼に関する記述にそうした事例を見ることが出来る(表2: 番号48~148)。

『台徳院殿御実紀』においては、歳暮に関して、

○廿九日諸大名登營して。歳暮を賀し奉る。織田長益入道有樂銀五十枚。小袖五。細川越中守忠興銀三百枚。小袖十。松平土佐守忠義銀二百枚。小袖五。松平攝津守忠政。松平下總守忠明。石川主殿頭忠總。本多美濃守忠政。松平主殿守忠利。鍋島信濃守勝茂。堀尾山城守忠晴。松平和泉守家乗。本多豊後守康紀等皆もの奉る。(駿府記、慶長年録)¹⁵

という記述が見える。各大名が江戸城に歳暮の祝いのために登城し、その際に各大名は銀のほか、小袖を献上している様子が記されている。

『太閤記』には、

漸今年も日数なく成て、年の名残を問かはす足もとしづかならぬさまも、時にしたがひ宜しきにや。秀吉公大坂にして御越年をはしまししかば、ちかきばらは云にも及ばず、遠国より来り侍る使者など宿をかり侘るもあり。又挑灯あまたもしたて、小袖樽やうの物おびた、しく持つけ、ときめく人たちの門々にみちくてにぎはひぬる事も、此歳暮はいつに勝れてめでたふぞ覚えしか。夜半の比より何方も音なく成て、しづかに夜は明にけり。…明れば天正拾五年正月元旦出仕など、乱世事かはり、式掌之沙汰に及て物ぶりてけり。二日之晩には御謡初とし、四座の大

夫ども召よせられ、御かはらけめぐりにけり。諸候大夫、其外紹巴・昌叱なども御祝儀申上、一きはうたふ声々ゆたかにして、万歳をよばふ。大夫共には小袖二重づゝ、座のものにも一重づゝ、引給ふ。めでたかりし事共也。¹⁶

とあり、秀吉が大阪城で年越しをした際に、諸大名や使者から酒と共に小袖が献上されている。また正月には、能の四座¹⁷を呼び寄せ演能をさせ、褒美に小袖を下賜している様子がうかがえる。歳暮や正月以外の節句における贈答について、『台徳院殿御実紀』では、

○四日 尾五兵衛守世を駿城に御使せられ。端午の賀として時服五領進せらる。諸大名もおなじく献ず。(駿府政事録)¹⁸

とある。端午の節句である五月五日の前日であるが、節句を祝して神尾五兵衛が駿府城にて時服を献上している。この時服とは、季節の衣服という意味である。五月五日に衣替を行い帷子を着用する習慣から、ここでの時服とは、帷子を指し、諸大名は時節に合わせて帷子を献上したことが分かる。

また同じく『台徳院殿御実紀』においては、九月九日の重陽の節句の日に、

○九日…駿城にては 尾五兵衛守世江戸に参り。常節を賀せられ時服五進らせたまふ。¹⁹

とある。前掲と同様、神尾五兵衛が駿河城に登り、時服を献上している。重陽の節句である九月九日は単の着物から袷の着物に衣替えを行う日であったため、ここでの時服とは袷の小袖であったと考えられる。

一方で、『信長公記』には、通過儀礼である元服に関する記述が見られる。

後七月十二日 近衛殿御方御元服之御望に候從 昔年 禁中に而御祝言之御事候之間當時

其例尤之旨再往再三雖御辭退候頻に 上意候
問不及是非御ぐし御はやしなされ御元服職
掌^{シヤウ}之儀式相調 攝家 花其外隣國之面々大名
小名御出仕有 爲御祝儀 御服^{シヤウ}十重 御太
刀代 萬疋 長光の御腰物 金子 五十枚
已上信長 御面目の次第中く無申計天下之儀
被仰付²⁰

近衛前久が信長の屋敷において、元服の儀式を行った。その際に信長が前久に元服の祝儀として衣服を贈ったことが記されている。身分の上下としては、公家方である近衛前久が上ということになるが、信長は足利義昭へ五カ条の約定を突き付ける等、この時すでに政治的実権を握っていた。近衛前久としては、息子の元服の儀式を信長の屋敷で行うことで、親睦を図ろうとしたと考えられる。

武家社会における政治政策には家同士の結びつきを強めるためのいわゆる政略結婚がある。婚礼は元服と同様人生の通過儀礼として、重要なものであるが、『台徳院殿御実紀』には、

○また加藤肥後守忠廣は右馬允正方を名代とし。婚姻を謝し。緋縹子二十。黒縹子二十。時服十。銀二百枚獻じ。正方も時服五。銀三十枚獻ず。これ故蒲生飛騨守秀行が女は。大御所の御孫女なるをもて。御所御猶子となされ。忠廣のもとに入與せられしなり。」²¹

と記されている。加藤忠広²²が、琴姫²³との婚姻の際に、緋縹子、黒縹子のほかに、時服を献上している。長崎氏によると、「江戸時代の婚礼においては、三々九度の儀式の後、すぐに綿帽子をとり、婿方から贈られた小袖に着替えることもありました。婿方から贈られる小袖は、赤地と黒地がおおむね決まり事となっており」²⁴と述べており、江戸時代の婚礼において、婿側からの贈り物として、緋と黒の縹子は適当であったと言える。また、婚礼衣裳の準備として反物を献上したと考えられる。

以上、年中行事や通過儀礼での染織品の贈答を見てきたが、婚礼や元服、節句による衣替え等、しきたりや習慣によって、贈与される染織品にもおおよその決まりがあることが分かった。

4-3.交際や挨拶等による贈答

通過儀礼や年中行事以外での、諸大名間での染織品の贈答も多く見られた。これらは、大名間での交際や、幕府への挨拶における様々なものの贈答である。『信長公記』には、

十月十九日 奥州伊達 方より名馬 がんぜき黒 白石鹿毛御馬二并に鶴取之御鷹二足進上…

信長 其日清水へ御成 村井長門被仰付右の御使衆清水にて御振舞在之
御返書注文

虎皮 五枚 豹皮 五枚 段子 十卷
志々羅 二十端 以上…²⁵

とあり、伊達輝宗から、がんぜき黒という名馬と白石鹿毛の馬二頭、鶴取りの鷹二羽が献上された。信長は返礼として、この日清水寺で村井長門に命じて、伊達家の使者たちを供応した。また輝宗への書には、虎の皮五枚、豹の皮五枚、段子十卷、しじら二十反を贈る旨が記されている。

『台徳院殿御実紀』においては、

前田中納言利長卿。子猿千代常と共に伏見に來謁し。金五千枚。加賀組五百端。時服百領獻じ。大御所には金三千枚。加賀組三百端。時服五十領を奉り。²⁶

とあり、前田利長から、徳川幕府へ加賀の特産品である加賀組を献上していることがわかる。交際や挨拶において贈与される染織品は、武功に見られた陣羽織や胴服、年中行事や通過儀礼等で見られた習慣付いた染織品ではなく、生地や地域での特産品等、多種多様な贈答染織品を

見ることができた。

4-4.貿易・国交にかかわる贈答品

1543年、種子島にポルトガル船が到来したことを契機に、マカオを拠点として、日本・中国・ポルトガルの三国間で商品が取引されるようになった。いわゆる南蛮貿易と呼ばれるこの貿易は、織田信長・豊臣秀吉に歓迎され、その後、スペイン人も日本を訪れるようになった。江戸幕府が開かれると、家康・秀忠の時代にはキリスト教を禁止しつつも貿易は推奨され、朱印船によって、東南アジアを含む地域との貿易が盛んになった。『太閤記』、『徳川実紀』においても、各国との交易の様子についてうかがう事ができる(表2:番号497~528)。鎖国政策がとられるまでのこの時代においては、どの

ような交易による贈答が行われていたのだろうか(図3-1、3-2)。

織田信長の南蛮品への憧れは非常に有名であるが、『信長公記』には、信長が直接交易を行い、他国の国王等から贈答品を受け取ったという記述は見当たらない。

一方、交易による日本からの贈答品については、『太閤記』に、

唐使へ^{おんし}恩賜之目録

- | | |
|--|---------------------------|
| 一 御刀 長光 | 目貫 ^[かうがい] 筭 後藤 |
| 一 同 助光 | 同 同 |
| 一 銀子 三百枚宛 | 一 <u>小袖</u> 二十重宛 |
| 一 <u>帷子</u> 三十宛 | |
| 一 銀子百枚 筆談之玄蘇西堂 | |
| 一 銀子五百枚 唐人供之下 | |
| 一 <u>帷子</u> 百 <u>筒服</u> 百 同下 ²⁷ | |

とあり、唐(大明国属高麗国、つまり朝鮮)からの使いに対し、下賜するという形で贈与を行っている。当時の日本から朝鮮への輸出品としては、鉾物が主なものであったが、銀に加えて、小袖、帷子、胴服の記載があり、衣服に仕立てられた染織品が贈られたことがわかる。

また、交易によって日本へもたらされた染織品については、『台徳院殿御実紀』に、朝鮮通信使が江戸城へ登城した様子を記した中に見られる。

朝鮮使節登城

○六日宗對馬守義智朝鮮信使呂祐吉。慶暹。丁好寛等をひきつてまうのぼる。其王李□が書簡をば柳川豊前守智永持て。大廣間縁に候す。酒井雅樂頭忠世請取て御坐(〔座ト〕)左唐織敷し机に置。其外の獻物鷹五十連。人參二百斤。絹段二百疋。白苧布三十匹。白綿布五十疋。黒麻布三十疋。花文席二十張。白紙五十卷。青皮十張。虎皮三十張。豹皮二十



図3-1 狩野内膳筆 南蛮屏風(重要文化財)
神戸市立博物館蔵 桃山時代16~17世紀



図3-2 部分

張なり。かの國禮曹參判吳億齡より。本多佐渡守正信にも書簡をくゝり。虎皮三張。白綿布十匹。白苧布十疋。油紙三張。花文席五張。廣縁に置。大廣間に縹紵二間を設け。其上に錦の茵をしきて御座となし。」²⁸

ここには、当時、朝鮮との交易を担っていた、対馬の宋氏が朝鮮通信使を引き連れ江戸城に登城した際の朝鮮から各大名への献上品が記されている。この記事から、白苧麻布や白木綿布、黒麻布、虎皮、豹皮等、仕立てられた衣服ではなく、素材となる染織品が献上された事が分かる。

また、江戸時代から始まったに朱印船貿易による贈答染織品について、『東照宮御実紀』には、

◎是月東埔寒國より書簡並に獅角八。鹿皮三百枚。孔雀一隻をまいらせ。其國叛人を征討する事あるをもて戎器を請ふ。²⁹

とあり、カンボジアから、書簡と共に鹿皮が献上されたと記している。一方、カンボジアからは、日本に対して武器を求めている様子が記されている。当時の日本からの輸出品には、先述した銅や硫黄、銀等の鉱物に加えて、刀剣等の武器類も多く含まれていた。

このほか、『台徳院殿御実紀』には、

○六日呂宋より金欄三端。縹子七端。縹珍三端。羅紗二端。純子五端。葡萄酒二壺に書簡そへて奉る。³⁰

とあり、ルソンからの贈与品の中に、金欄、縹子、縹珍、羅紗、緞子、ワインを見ることが出来る。

以上、交易における贈答染織品について見てきたが、交易による贈答染織品には、その土地の特産のものとあわせて、東南アジア等の貿易



図4 徳川家康所用 黒羅紗地陣羽織
徳川美術館所蔵 桃山時代16世紀

の中継地である国からは、その国が交易している他国からの舶載染織品がもたらされていたことがわかった(図4)。

4-5.その他

その他、武功等以外にも褒章としての染織品の贈答が行われていたことが分かる(表2:番号529~603)。『信長公記』には、

爰に深尾又次郎能相撲面目白仕り候て被成御感御服被下忝次第也³¹

とあり、深尾又次郎という相撲の力士は技能に優れ、おもしろい取り口を見せたので、信長が感心し、褒美として衣服を下賜した様子が記されている。また、『太閤記』には、

文禄二年卯月九日於て二名護屋本丸に一御能之次第…

大夫并座の者共御服被下畢。八郎には唐織菊之御紋付たる御小袖二重なり。³²

とある。名古屋本丸にて、金春八郎一座の演能を楽しんだ秀吉が、金春八郎に、菊紋付の唐織小袖を2領、また座の者にも衣服を下賜している様子が記されている。

この二つの記述において染織品を下賜された

人物は、上流武家ではないものの、近世初期上流武家の贈答染織品の使用用途がわかる。

5. 各文献にみられる贈答染織品の特徴

ここまで5種類の文献にみられた贈答染織品を、贈答の目的に分け原文を紹介しながら検討を行ってきたが、同時代に起こった事象について書かれた5つの文献に共通して見られる特徴、またそれぞれの文献にみられる特徴について述べる。

『利家夜話』については、もともと大部の文献ではなく、贈答染織品に関する記述も相対的に少ないと言える。更に、利家については、本研究の対象とした、5人の人物のうち唯一国の実質的な支配権を握っていない。信長、秀吉、秀頼に仕え、また自国は加賀百万石として栄えていたため、実際には贈答を多く行っていたと考えられるが、家臣への贈与(表2:番号18~20、50)や、国替にかかわる上杉謙信との贈答関係(表2:番号162~164)が見られる他は、利家に対する献上を取り上げた記述は見られなかった。

『信長公記』は織田信長の伝記的な書物である。そのため、贈答染織品に関する記述は、信長が家臣や身分が下の者へ贈与を行うという状況が多い。実権を握っていた時代においては、信長への献上品も実際には多かったとは考えられるが、記述においては、信長の部下への配慮や庶民への配慮が多く記されており、伝記として信長の格を下げないように書かれていると推測される。

『太閤記』は、軍記に分類される書物であり、秀吉自身が武功によって受けた褒章もあるが、家臣のあげた武功に対する褒章や慰労の目的での染織品下賜の記述を見ることができた(表2:番号21~25)。また、『太閤記』には、交易における贈答染織品について特徴的に見られたのは、朝鮮とのやり取りであった(表2:番号497~499)。

『徳川実紀』は大部の文献であり、贈答に関

する記述の件数も多かった。征夷大將軍を秀忠へ譲った後も家康は大御所として引き続き実権を握っていたため、家康も含め、幕府への贈答に関する記述は『東照宮御実紀』よりもむしろ、秀忠の記録である『台徳院殿御実紀』に多く見られる。秀忠の時代には参勤交代の制度等も布かれ、定期的に各大名が、徳川幕府へ染織品を献上するという事が行われていた³³。

5種類の文献における、贈答染織品に関する記述の違いは、どの位の期間実権を握ったかということ、つまり贈答を多く行う立場であったかどうかということである。また、それぞれ文献としての性格が異なり、何を記録し残すべきかという判断も異なる。例えば、その文献が日記としての性格が強いものであるか、伝記的な解釈を担ったものであるか、また軍記としての性格が強いかなどということである。

『信長公記』は、伝記としての性格が強く、『利家夜話』では、「夜話」という題名の通り、夜に集まって話をするような寛いだ状況で語られる伝記的な読み物である。政治的な交友関係についても当然触れられているが、笑い話や逸話の占める割合が多いと言える。『太閤記』は、軍記であり戦を書き綴っている書物である。『徳川実紀』は「実紀」という名称が与えられているように、5種類の文献の中では一番公文書としての性格が強い書物であると言える。こうした、文献としての性格の違いによって、贈答染織品に関する記述に異なる記述形式がとられたと考えられる。

しかし一方で、室町時代末から桃山時代を経て江戸時代初期という、近世初期の出来事が記録されたこれらの文献によって、下剋上の時代における各大名間での政治的な贈答のやりとりや、戦を背景とした贈答染織品、鎖国に至る前の舶載染織品の実態を知ることが出来た。

6. 贈答染織品の役割について

5種類の文献から、上流武家社会における贈答染織品は、その殆どが政治的な交際関係によ

るものであり、軍事的な協定や、奉仕に対する労をねぎらうもの、手付等であったことがわかる。また、年中行事における贈答品は、いわゆる進物であり、見返りを求めるものではないが、実際には一種の税金や年貢にあたるようなもの、あるいは、参勤交代のように、地方の大名にとっては逃れることのできない、租税のようなものとして捉えることもできる。

先行研究や本研究での結果を踏まえ、近世初期の染織贈答品についてまとめてみるとそこにはいくつかの特徴が認められる。

徳川、長崎両氏の先行研究にもあるように、染織品の下賜において最も名誉なものとは、その時代の最高位である将軍が実際に着用したもの、中でも素肌に近い、いわゆる「お肌付」のものであるほど良いとされた。故に、小袖や羽織類は下着に次いで名誉な拝領品であるといえる。また、武家が台頭して以来、公家に習い紋を用いてきた武家にとって、紋付きの衣服とは、ある種のステータスであり、自分より身分の高い者から紋付きの衣服を拝受することは、その身内に準じる立場を与えられたのと同様に感じられ、大変名誉なことであった。また、上位の者は衣服を贈答用に調べていたと考えられ、この場合には主君が自ら着用するためのものではないため、お肌付よりは格が下がると考えられていたようである。

また、下賜された染織品の中には、仕立てられていないもの、つまり絹布や麻布などの反物が見られる。これは、仕立てられた衣服に比べさらに格が下がる。また外交等において他国へ贈与される場合にもこれらが多く見られる。しかし、同じように反物といっても、中国や南蛮からもたらされた舶載品が下賜される場合はその価値が高く、ほんの一握りの裕福な人の手にしか入らないことから、これは格の高い下賜といえる。

また、下賜や献上での記述に見られる、「時服」、「御小袖」、「御服」のうち、時服はその季節の衣服という意味で、年中行事の際の贈答等

に用いられる。これは、衣替の時期により帷子や袴、単衣と、指す物が変わるが、始めから贈答用として仕立てられていると考えられる。また、「御小袖」や「御服」については、御という字が冠されていることから、「御小袖」は上位の者の小袖、「御服」は上位の者の服を指し、下賜をする際に用いられたと考えられる。

今後の課題

本稿では、近世初期の贈答染織品に関する記述を通じて、どのような状況で、染織品の贈答が行われていたか、その実態を把握した。今回使用した文献や調査対象にした武将は、現存遺品が多く残っており、記録と相互に補完ができるが、これらの他にも近世初期の贈答染織品の現存遺品は各地に分蔵されている。本研究で取り上げた、贈答染織品の格付けや、検討をひとつの足がかりとして、贈答染織品の実態を更に明らかにできればと思う。

付記

本稿をまとめるにあたり長崎巖教授（共立女子大学家政学部被服学科染織文化研究室）には、終始にわたりご指導を頂きました。記して感謝申し上げます。

- 1) 新村出：『広辞苑』第六版，岩波書店（2008）
- 2) 伊藤幹治：『贈答の日本文化』，筑摩書房（2011）
- 3) 源了圓：『義理と人情—日本の心情の一考察』，中央公論社（1969）
- 4) 家康所用の下賜用衣服を、「イ 家康自身の着用した衣服か否か、当然着用された衣服の方が貰われた。 ロ 下着か上衣か、即ち膚に近い衣服ほど名誉とされる。 ハ 定紋（菱紋）付か否か、三ツ紋か五ツ紋か。」の三つに分類し格付けを明らかにしている。（徳川義宣：「辻が花と徳川家康の衣服」，『辻が花 英雄を彩った華麗な絞り染め 開館五十五周

- 年記念特別展』, 徳川美術館 (1990年))
- 5) 長崎巖:「東京国立博物館蔵・水浅葱練緯地蔦模様三葉葵紋付辻が花染胴服について」, 『MUSEUM』585号, 東京国立博物館 (2003)
- 6) 高山知子:「日蘭貿易における輸入染織品に関する研究—平戸オランダ商館日記の分析を通じて—」, 平成19年度共立女子大学大学院修士論文
- 7) 『信長公記』(近藤瓶城編:『改定史籍集覧』第19冊, 臨川書店, (1984) 所収)
- 8) 『利家夜話』(近藤瓶城編:『改定史籍集覧』第13冊, 臨川書店, 1984) 所収)
- 9) 『太閤記』(佐竹昭広他編:『新日本古典文学大系』60〈岩波書店, 1996年〉所収)
- 10) 『徳川実紀』(黒板勝美:『徳川実紀』, 第1篇, 国史体系第38, 『東照宮御実紀』〈吉川弘文館, 1929年〉及び『徳川実紀』, 第2篇, 国史体系第39, 『台徳院殿御実紀』〈吉川弘文館, 1929年〉所収)
- 11) 『信長公記』 P. 570L.5~P.570L.9
- 12) 『利家夜話』 P.89L.5~P.89L.10
- 13) 『太閤記』 P.541L.9~P.541L.14
- 14) 『台徳院御実紀』, P.758下L.4~P.758下L.14
- 15) 『台徳院殿御実紀』, P.641上L.2~P.641上L.8
- 16) 『太閤記』, P.235L.5~P.235L.9
- 17) 観世・宝生・金剛・金春流の四つの座。
- 18) 『台徳院殿御実紀』, P.585下L.12~P.585上L.14
- 19) 『台徳院殿御実紀』, P.680下L.20~P.680下L.21
- 20) 『信長公記』, P.133L.1~P.133L.5
- 21) 『台徳院殿御実紀』, P.663下L.6~P.663下L.11
- 22) 加藤清正の三男。
- 23) 蒲生秀行の娘・徳川秀忠の養女で徳川家康の孫にあたる。
- 24) 長崎巖:「着物における白・赤・黒」, 『月刊装道』, 7月号 (2007), P.21
- 25) 『信長公記』, P.118L.9~P.118L.16
- 26) 『台徳院殿御実紀』, P.387上L.6~P.387上L.9
- 27) 『太閤記』, P.434L.4~P.435L.17
- 28) 『台徳院殿御実紀』, P.435下L.11~P.436上L.11
- 29) 『東照宮御実紀』, P.95上L.8~P.95上L.11
- 30) 『台徳院殿御実紀』, P.497上L.13~P.497上L.15
- 31) 『信長公記』, P.61L.4~P.61L.10
- 32) 『太閤記』, P.402L.3~P.405L.5
- 33) (表2)「儀礼・年中行事」、「交際・挨拶」のうち徳川家康への献上に関する記述は、87件、秀忠への献上に関する記述は、186件であった。

近世初期上流武家における贈答染織品の実態に関する研究

表2 文献に見られる贈答染織品

番号	時期		誰から		誰へ	目的	贈答品	文献	巻	頁・行
武功										
1	永禄11	1569	織田信長	下賜	松平信一	武功	道服(胴服)	『東照宮御実紀』	2	P.33 F.11~P.33 F.11
2	元亀3	1572	織田信長	下賜	前波九郎兵衛父子三人	武功	帷子、小袖	『信長公記』	5	P.79 L.16~P.79 L.7
3	元亀4	1573	織田信長	下賜	下津権内	武功	道服(胴服)	『信長公記』	6	P.89 L.5~P.89 L.10
4	元亀5	1574	織田信長	下賜	金松又四郎	武功	足半	『信長公記』	6	P.92 L.2~P.92 L.5
5	天正3	1575	織田信長	下賜	村井又兵衛	武功	具足羽折(陣羽織)	『利家夜話』	中	P.570 L.5~P.570 L.9
6	天正4	1576	織田信長	下賜	佐久間信盛、松永久秀、細川藤孝ら	武功	御服	『信長公記』	9	P.124 L.14~P.124 L.16
7	天正6	1578	織田信長	下賜	高山右近	武功	御小袖	『信長公記』	11	P.152 L.5~P.152 L.7
8	天正6	1578	織田信長	下賜	神保長住	武功(手付)	志々良百端	『信長公記』	11	P.142 L.4~P.142 L.6
9	天正6	1578	織田信長	下賜	中川瀬兵衛の家臣	武功	御服	『信長公記』	11	P.152 L.17~P.153 L.2
10	天正6	1578	織田信長	下賜	高山右近の家老二人	武功	御服	『信長公記』	11	P.152 L.17~P.153 L.2
11	天正7	1579	織田信長	下賜	織田信長の家臣	武功	縮羅(しじら)、巻物、板物千端余り	『信長公記』	12	P.177 L.4~P.177 L.5
12	天正8	1580	織田信長	下賜	北条氏政	武功	虎皮二十枚、縮羅二百端三箱、狸々皮十五	『信長公記』	13	P.191 L.1~P.191 L.4
13	天正8	1580	織田信長	下賜	北条氏政	武功	段子 二箱	『信長公記』	13	P.191 L.1~P.191 L.4
14	天正8	1580	織田信長	下賜	根室寺岩家坊	武功	道複(胴服)	『信長公記』	13	P.187 L.14~P.187 L.15
15	天正10	1582	織田信長	下賜	斉藤六太夫	武功	御小袖	『信長公記』	15	P.230 L.3~P.230 L.3
16	天正10	1582	織田信長	下賜	稲田九藏新助	武功	御小袖	『信長公記』	15	P.238 L.15~P.239 L.3
17	不明	不明	織田信長	下賜	村井又兵衛	武功	南蛮笠	『利家夜話』	中	P.578 L.17~P.579 L.12
18	天正13	1586	前田利家	下賜	不破彦三、村井又兵衛	武功	同服(胴服)	『利家夜話』	上	P.552 L.12~P.553 L.3
19	天正14	1586	前田利家	下賜	前田利家の家臣たち	武功	同服(胴服)、時服	『利家夜話』	上	P.552 L.12~P.553 L.3
20	文禄年間頃	1592~96	前田利家	下賜	寺西筑後守正勝	武功	拾十、単物五、帷子五	『利家夜話』	中	P.562 L.2~P.562 L.16
21	永禄9	1566	豊臣秀吉	下賜	稲田大炊助	武功	筒服(胴服)	『太閤記』	1	P.28 L.6~P.29 L.4
22	天正11	1583	豊臣秀吉	下賜	家臣	武功、年賀	小袖など	『太閤記』	5	P.120 L.12~P.121 L.5
23	天正15	1587	豊臣秀吉	下賜	佐々内蔵助	武功	小袖五十重	『太閤記』	8	P.195 L.1~P.195 L.13
24	天正18	1591	豊臣秀吉	下賜	近藤平右衛門秀用の子登助孝	武功	紅梅染の胴服	『台徳院殿御実紀』	19	P.585 F.1.19~P.586 L.3
25	不明	—	豊臣秀吉	下賜	徳川家康	武功(手付)	陣羽織	『東照宮御実紀』	5	P.178 F.1.2~P.179 L.24
26	慶長12	1608	徳川家康	下賜	松平武蔵守利隆	武功	時服	『台徳院殿御実紀』	42	P.101 L.21~P.101 F.1.20
27	元和元	1615	徳川家康	下賜	今村正長	武功	胴服	『東照宮御実紀』	15	P.276 F.1.21~P.276 F.1.8
28	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	玉虫八兵衛	武功	時服	『台徳院殿御実紀』	30	P.734 L.13~P.734 L.19
29	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	黒澤甚兵衛、信太内蔵助、大塚九郎兵衛	武功	御羽織	『台徳院殿御実紀』	30	P.734 L.13~P.734 L.19
30	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	九鬼長門守守隆、向井、小浜、千賀等、向井の家人	武功	時服	『台徳院殿御実紀』	31	P.737 F.1.19~P.737 F.1.22
31	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	稲田修理、稲田修理の子九郎兵衛	武功	時服	『台徳院殿御実紀』	32	P.753 L.17~P.753 L.20
32	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	蜂須賀阿波守至鎖長男千松丸	武功	御上帯、御肩衣袴	『台徳院殿御実紀』	33	P.758 F.1.4 ~P.758 F.1.14
33	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	林道感、甚大夫	武功	時服一襲	『台徳院殿御実紀』	33	P.758 F.1.4 ~P.758 F.1.14
34	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	甚五兵衛、七左衛門	武功	陣羽織	『台徳院殿御実紀』	33	P.758 F.1.4 ~P.758 F.1.14
35	元和元	1615	徳川秀忠	下賜	父宗心井林道感	武功	時服二つつ	『台徳院殿御実紀』	34	P.2 L.20~P.2 F.1.7
36	元和元	1615	徳川秀忠	下賜	森甚五兵衛、岩田七左衛門	武功	御陣羽織 一つつ	『台徳院殿御実紀』	34	P.2 L.20~P.2 F.1.7
37	元和元	1615	徳川秀忠	下賜	杉原常隆介、須田大炊助、鉄保左衛門	武功	時服一襲	『台徳院殿御実紀』	34	P.3 L.17~P.3 F.1.3
38	元和元	1615	徳川秀忠	下賜	梅津半右衛門	武功	時服一襲、陣羽織	『台徳院殿御実紀』	34	P.3 L.17~P.3 F.1.3
39	永禄7	1563	山中鹿助(母)	下賜	山中鹿助家臣	武功	帷子、筒服(胴服)、肩衣、袴、手巾など	『太閤記』	19	P.541 L.9~P.541 L.14
40	永禄11	1568	足利義昭	下賜	織田信長	武功	紋柄引両筋	『信長公記』	1	P.55 L.16~P.55 L.17
41	天正8	1580	木下助左衛門、魚住集人	下賜	織田信長	武功	美御服、御帷	『信長公記』	13	P.194 L.2~P.194 L.15
42	慶長15	1611	有馬修理太晴信	献上	徳川家康・秀忠	武功	糸数千把(南蛮船の運搬物)	『台徳院殿御実紀』	11	P.507 F.1.12~P.507 F.1.20
43	元和元	1615	豊臣秀頼	下賜	増田盛次	武功	錦の陣羽織	『台徳院殿御実紀』	37	P.43 F.1.16~P.43 F.1.23
44	慶長19	1615	浅野但馬守長晟	下賜	松平宮内少輔忠雄	武功	時服	『台徳院殿御実紀』	30	P.727 L.15~P.727 L.17
45	慶長19	1615	豊臣秀頼	贈与	七組の頭連水甲斐守	武功	金帛	『台徳院殿御実紀』	28	P.696 L.8~P.696 F.1.23
46	弘治~永禄年間頃か?	1555~1558頃か?	足利義輝	下賜	山名禅高聚楽	武功か? 褒章か?	茶染の羽折(肩の綻たる)	『東照宮御実紀』	7	P.200 F.1.11~P.201 L.17
47	文禄2~4	1592~1595	豊臣秀次	秀次	木村常隆介方	武功	筒服(胴服)、単物、帷子	『太閤記』	15	P.431 L.6~P.431 L.14
儀礼・年中行事										
48	天正4	1576	織田信長	献上	摂家、清華家(公家)	儀礼	巻物色々	『信長公記』	9	P.128 L.10~P.128 L.14
49	天正5	1577	織田信長	献上	近衛信基(前關白近衛前久の子)	儀礼	御服十重	『信長公記』	10	P.133 L.1~P.133 L.5
50	不明	不明	前田利家	下賜	柴田勝左衛門	儀礼(国替)	胴服	『利家夜話』	中	P.581 L.6~P.581 L.10
51	慶長14	1610	徳川家康	下賜	松平武蔵守利隆の子新太郎	儀礼(息子誕生)	時服	『台徳院殿御実紀』	42	P.101 L.21~P.101 F.1.20
52	慶長12	1608	徳川秀忠	下賜	諏訪因幡守頼水の子松千代	儀礼	烏帽子素襦	『台徳院殿御実紀』	6	P.449 F.1.15~P.449 F.1.20
53	慶長14	1610	徳川秀忠	下賜	松平武蔵守利隆	儀礼(息子誕生)	帷子、単物、袴	『台徳院殿御実紀』	9	P.483 L.12~P.483 L.24
54	慶長17	1613	徳川秀忠	下賜	九鬼長門守守隆其子太郎五郎良隆	儀礼	時服	『台徳院殿御実紀』	20	P.604 L.11~P.604 F.1.10
55	慶長18	1614	徳川秀忠	下賜	松平筑前守利常妻(秀忠娘)	儀礼(娘誕生)	時服十領	『台徳院殿御実紀』	22	P.621 L.3~P.621 L.7

共立女子大学家政学部紀要 第58号 (2012)

56	元和8	1622	徳川秀忠	下賜	鍋島昌濃守勝茂の二子 勘助	儀礼	時服、麻の上下	『台徳院殿御実紀』	57	P.212 上 L.17~P.212 上 L.29
57	元和8	1622	徳川秀忠	下賜	松平(黒田)右衛門佐 家臣	儀礼(婚姻)	時服	『台徳院殿御実紀』	55	P.223 下 L.5~P.223 下 L.11
58	元和3	1617	美作守忠宗父子	献上	徳川秀忠	儀礼(婚姻)	小袖三十	『台徳院殿御実紀』	47	P.141 下 L.19~P.142 上 L.6
59	元和3	1617	美作守忠宗父子	献上	御台所	儀礼(婚姻)	小袖十	『台徳院殿御実紀』	47	P.141 下 L.19~P.142 上 L.6
60	元和3	1617	美作守忠宗父子	献上	伊達幸房成実、伊達安 定宗	儀礼(婚姻)	時服	『台徳院殿御実紀』	47	P.141 下 L.19~P.142 上 L.6
61	天正4	1576	正親町天皇	下賜	織田信長	儀礼	御服	『信長公記』	9	P.128 上 L.10~P.128 上 L.11
62	元和3	1617	松平陸奥守政宗	献上	徳川秀忠	儀礼(婚姻)	小袖十	『台徳院殿御実紀』	47	P.141 下 L.19~P.142 上 L.6
63	元和3	1617	松平陸奥守政宗	献上	御台所	儀礼(婚姻)	絹二百把	『台徳院殿御実紀』	47	P.141 下 L.19~P.142 上 L.6
64	元和6	1620	女御の御方	下賜	徳川秀忠の娘和子	儀礼(婚姻)	夏冬の御装束、夏の 御料は御引直衣、夏 車袴好、同じ大口、 紅生口の御袴、冬の 御料には御冠、御引 直衣、御車、御袴、 御打衣、御打の袴、 御題、その外色々の 御衣百領	『台徳院殿御実紀』	52	P.191 下 L.18~P.191 下 L.23
65	元和6	1620	女御の御方	下賜	徳川秀忠の娘和子	儀礼(婚姻)	御衣	『台徳院殿御実紀』	52	P.191 上 L.8~P.191 下 L.10
66	元和6	1620	女院の御方	下賜	徳川秀忠の娘和子	儀礼(婚姻)	うるはしき御衣五十	『台徳院殿御実紀』	52	P.191 下 L.18~P.191 下 L.21
67	元和6	1620	女院	下賜	徳川秀忠の娘和子	儀礼(婚姻)	時服	『台徳院殿御実紀』	52	P.191 上 L.8~P.191 下 L.10
68	元和6	1620	宗対馬守義成	献上	徳川秀忠の娘和子	儀礼(婚姻)	小袖五、虎皮二枚	『台徳院殿御実紀』	53	P.200 上 L.8~P.200 上 L.9
69	慶長19	1615	加藤肥後守忠広	献上	徳川秀忠	儀礼(婚姻)	練襦子二十、黒纏子 二十、時服十	『台徳院殿御実紀』	26	P.663 下 L.6~P.663 下 L.11
70	慶長12	1608	越前少将朝臣	献上	徳川家康	儀礼	絹五百把	『台徳院殿御実紀』	6	P.413 上 L.11~P.413 上 L.20
71	慶長10	1606	広橋・権修寺(公家)	献上	徳川秀忠	儀礼	時服	『台徳院殿御実紀』	1	P.387 上 L.18~P.387 下 L.2
72	慶長10	1606	外様諸大名	献上	徳川秀忠	儀礼	時服	『台徳院殿御実紀』	1	P.387 上 L.13~P.387 上 L.18
73	慶長12	1608	上総介忠輝朝臣	献上	徳川家康	儀礼	かなひき二百把、越 後布疋疋	『台徳院殿御実紀』	6	P.413 上 L.11~P.413 上 L.21
74	慶長12	1608	宮中	献上	徳川家康	儀礼	縮子十巻	『台徳院殿御実紀』	6	P.413 上 L.11~P.413 上 L.21
75	慶長12	1608	宮中	下賜	伝奏広橋大納言・義勝卿、 権修寺中納言光豊卿	儀礼	小袖二つづ	『台徳院殿御実紀』	6	P.413 上 L.11~P.413 上 L.21
76	天正9	1581	豊臣秀吉	献上	織田信長や女房衆	年中行事(歳 暮)	御小袖二百	『信長公記』	14	P.225 L.7
77	天正11	1582	豊臣秀吉	献上	織田信忠(信長息子)	年中行事(歳 暮)	御小袖十重	『太閤記』	5	P.119 L.1~P.119 L.11
78	天正11	1582	豊臣秀吉	献上	濃州及出勢之傍輩衆	年中行事(歳 暮)	小袖十、小袖二重	『太閤記』	5	P.110 L.12~P.121 L.5
79	慶長9	1605	徳川家康	下賜	諸大名	年中行事(正 月)	時服	『東照宮御実紀』	8	P.109 上 L.16~P.109 上 L.18
80	慶長9	1605	徳川家康	下賜	諸大名	年中行事(正 月)	時服	『東照宮御実紀』	8	P.109 下 L.16~P.109 下 L.12
81	慶長15	1611	徳川家康	下賜	金地院崇伝	年中行事(重 陽)	時服	『台徳院殿御実紀』	16	P.560 上 L.1~P.560 上 L.6
82	慶長19	1615	徳川家康	下賜	飛鳥井冷泉の両黄門、光 坊僧正大海、金地院崇 伝、玄性院	年中行事(重 陽)	時服	『台徳院殿御実紀』	27	P.680 下 L.15~P.680 下 L.17
83	慶長19	1615	徳川家康	下賜	神尾五兵衛守世	年中行事(重 陽)	時服五	『台徳院殿御実紀』	27	P.680 下 L.20~P.680 下 L.21
84	慶長19	1615	徳川家康	下賜	小島庄兵衛、梅津忠介	年中行事(正 月)	時服羽織	『台徳院殿御実紀』	27	P.689 下 L.9~P.689 下 L.11
85	慶長15	1611	徳川秀忠	下賜	上杉中納言景勝	年中行事(立 春)	時服五十	『台徳院殿御実紀』	14	P.536 下 L.15~P.536 下 L.23
86	慶長15	1611	徳川秀忠	下賜	家臣或(江山城守兼統等 五人)	年中行事(立 春)	時服	『台徳院殿御実紀』	14	P.536 下 L.15~P.536 下 L.23
87	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	諸大名	年中行事(正 月)	時服	『台徳院殿御実紀』	24	P.645 上 L.7~P.645 上 L.10
88	元和元	1615	徳川秀忠	献上	九條前田白忠実公	年中行事(七 夕)	帷子	『台徳院殿御実紀』	39	P.55 下 L.1~P.55 下 L.14
89	元和2	1616	徳川秀忠	下賜	松平和泉守家康、松平主 殿直忠利、松平伊豆守信 吉ら諸大名	年中行事(正 月)	時服	『台徳院殿御実紀』	41	P.83 下 L.13~P.84 上 L.12
90	元和2	1616	徳川秀忠	下賜	竹右京大夫義宣、伊達達 江守秀宗、黒田筑前守長 政、京極若狭守忠高ら諸 大名	年中行事(正 月)	時服	『台徳院殿御実紀』	41	P.84 上 L.21~P.84 下 L.16
91	元和9	1623	徳川秀忠	下賜	尾張中納言義直卿、水戸 宰相頼房卿、松平伊予守 忠雄、松平宮内少輔忠 雄、傳豊和泉守高虎	年中行事(正 月)	時服	『台徳院殿御実紀』	58	P.215 上 L.1~P.215 上 L.7
92	天正9	1581	諸大名や使者	献上	織田信長	年中行事(歳 暮)	御服、御紋付	『信長公記』	14	P.235 L.1~P.235 L.6
93	天正14	1586	諸大名使者	献上	豊臣秀吉	年中行事(歳 暮)	小袖	『太閤記』	10	P.235 L.5~P.235 L.9
94	慶長13	1609	飛鳥井宰相頼房卿	献上	徳川秀忠	年中行事(節 句)	帷子五	『台徳院殿御実紀』	7	P.458 下 L.12~P.458 下 L.14
95	慶長13	1609	加藤肥後守清正、最上 出羽守義光、松平 陸奥守政宗ら諸大名	献上	徳川秀忠	年中行事(節 句)	帷子十〜二	『台徳院殿御実紀』	7	P.457 下 L.20~P.458 上 L.17
96	慶長13	1609	毛利中納言輝元入道 宗瑞、藤七郎秀就、 高津陸奥守家久、福 島左衛門大夫正則ら 諸大名	献上	徳川秀忠	年中行事	帷子十〜二	『台徳院殿御実紀』	7	P.457 上 L.15~P.457 下 L.14
97	慶長13	1609	中川修理大夫秀成	献上	徳川秀忠	年中行事(節 句)	道服(制服)五	『台徳院殿御実紀』	7	P.458 上 L.20~P.458 下 L.22
98	慶長13	1609	柳川修理大夫秀成	献上	徳川秀忠	年中行事(節 句)	縮緬二十五端	『台徳院殿御実紀』	7	P.458 下 L.19~P.458 下 L.20

近世初期上流武家における贈答染織品の実態に関する研究

99	慶長13	1609	花月又七郎某	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	帷子三	『台徳院殿御実紀』	7	P.458 F.1.12~P.458 F.1.14
100	慶長13	1609	間長門守一政、中川修理大夫秀成ら	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	單物三	『台徳院殿御実紀』	7	P.457 F.1.20~P.458 F.1.17
101	慶長13	1609	朽木河内守元綱	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	越前綿二十把	『台徳院殿御実紀』	8	P.473 F.1.11~P.474 F.1.5
102	慶長13	1609	桑山伊賀守元晴	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	道服(朝服)二、袴	『台徳院殿御実紀』	7	P.457 F.1.20~P.458 F.1.17
103	慶長13	1609	建部内匠頭光重	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	帷子五	『台徳院殿御実紀』	7	P.458 F.1.19~P.458 F.1.19
104	慶長13	1609	博西堂藏羅一、文殊院弟子宮内卿	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	絨	『台徳院殿御実紀』	7	P.459 F.1.7~P.459 F.1.10
105	慶長13	1609	御業屋勝七	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	白布五端	『台徳院殿御実紀』	7	P.457 F.1.20~P.458 F.1.17
106	慶長13	1609	坂本新五郎某	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	羽二重五疋	『台徳院殿御実紀』	7	P.457 F.1.20~P.458 F.1.17
107	慶長13	1609	三宝院門跡義演准后	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	袴二	『台徳院殿御実紀』	7	P.457 F.1.20~P.458 F.1.17
108	慶長13	1609	三郎右衛門	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	唐木綿五端、南蛮作天連天蓋絨一卷、錦一卷	『台徳院殿御実紀』	8	P.473 F.1.11~P.474 F.1.5
109	慶長13	1609	松平三郎兵衛某	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	紫皮	『台徳院殿御実紀』	8	P.473 F.1.11~P.474 F.1.5
110	慶長13	1609	松平陸奥守政宗、島津陸奥守家久、松平長門守秀就ら	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	小袖十〜二	『台徳院殿御実紀』	8	P.473 F.1.11~P.474 F.1.5
111	慶長13	1609	森左兵衛某	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	轡子	『台徳院殿御実紀』	8	P.473 F.1.11~P.474 F.1.5
112	慶長13	1609	赤井豊後守忠泰	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	大緒	『台徳院殿御実紀』	8	P.473 F.1.11~P.474 F.1.5
113	慶長13	1609	長谷川式部少輔守知	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	紫革十枚	『台徳院殿御実紀』	7	P.457 F.1.15~P.457 F.1.14
114	慶長13	1609	島田新十郎某	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	紫皮三枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.473 F.1.11~P.474 F.1.5
115	慶長13	1609	岡田三か寺	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	襦布三四	『台徳院殿御実紀』	7	P.459 F.1.7~P.459 F.1.10
116	慶長13	1609	内緒久盛馬代	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	帷子十、端子、轡子、袴十	『台徳院殿御実紀』	7	P.458 F.1.20~P.458 F.1.22
117	慶長13	1609	南都五郎	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	白布十四	『台徳院殿御実紀』	7	P.459 F.1.7~P.459 F.1.10
118	慶長13	1609	尾崎又次郎某	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	紫革十枚	『台徳院殿御実紀』	7	P.457 F.1.20~P.458 F.1.17
119	慶長13	1609	片山小右衛門某	献上	徳川秀忠	年中行事(節句)	日光布二端	『台徳院殿御実紀』	7	P.457 F.1.20~P.458 F.1.17
120	慶長13	1609	毛利掃部某	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	綿二十把	『台徳院殿御実紀』	8	P.473 F.1.11~P.474 F.1.5
121	慶長13	1609	有馬修理大夫晴信	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	襦袢五巻	『台徳院殿御実紀』	8	P.473 F.1.11~P.474 F.1.5
122	慶長14	1610	黒田筑前守長政	献上	徳川秀忠	年中行事(正月)	時服上、唐織夜物、唐織小巻、虎皮朝袴	『台徳院殿御実紀』	9	P.481 F.1.17~P.481 F.1.21
123	慶長14	1610	松平陸奥守政宗	献上	徳川秀忠	年中行事(正月)	唐織轡子の夜物上	『台徳院殿御実紀』	9	P.480 F.1.14~P.480 F.1.23
124	慶長15	1611	諸大名	献上	徳川家康	年中行事(重編)	時服	『台徳院殿御実紀』	16	P.560 F.1.1~P.560 F.1.3
125	慶長15	1611	上杉中納言景勝	献上	徳川秀忠	年中行事(立春)	時服三十、帷子三十巻、綿三百把	『台徳院殿御実紀』	14	P.536 F.1.15~P.536 F.1.23
126	慶長16	1612	諸大名	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮)	時服	『台徳院殿御実紀』	17	P.571 F.1.1~P.571 F.1.2
127	慶長17	1613	加賀中納言利長郎	献上	徳川家康	年中行事(端午)	加賀の袴、白布百疋づつ	『台徳院殿御実紀』	19	P.586 F.1.12~P.586 F.1.18
128	慶長17	1613	京極丹後守高知、松平武蔵守利隆、黒田筑前守長	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	時服十づつ	『台徳院殿御実紀』	20	P.603 F.1.20~P.603 F.1.7
129	慶長17	1613	金地院崇伝	献上	徳川家康	年中行事(重編)	時服一襲	『台徳院殿御実紀』	20	P.597 F.1.23~P.598 F.1.1
130	慶長17	1613	黒田筑前守長の子万徳	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	綿二百把、	『台徳院殿御実紀』	20	P.603 F.1.20~P.603 F.1.1
131	慶長17	1613	神尾五兵衛守世、諸大名	献上	徳川家康	年中行事(端午)	時服五	『台徳院殿御実紀』	19	P.585 F.1.12~P.585 F.1.11
132	慶長17	1613	水野監物忠元	献上	徳川家康	年中行事(七夕)	帷子五領、袴車物	『台徳院殿御実紀』	19	P.590 F.1.7~P.590 F.1.19
133	慶長17	1613	係平次某	献上	徳川家康	年中行事(七夕)	時服	『台徳院殿御実紀』	19	P.590 F.1.7~P.590 F.1.19
134	慶長17	1613	村上岡防守親男	献上	徳川家康	年中行事(端午)	帷子五領	『台徳院殿御実紀』	19	P.586 F.1.12~P.586 F.1.18
135	慶長17	1613	東本願寺門跡光圀	献上	徳川秀忠	年中行事(端午)	時服五	『台徳院殿御実紀』	19	P.585 F.1.12~P.585 F.1.11
136	慶長17	1613	尾尾山城守忠晴	献上	徳川家康	年中行事(端午)	單衣五領	『台徳院殿御実紀』	19	P.586 F.1.12~P.586 F.1.18
137	慶長17	1613	有馬玄蕃頭曹兵衛、京極室相高次、稲葉彦六典通	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮か?)	時服二領	『台徳院殿御実紀』	20	P.603 F.1.20~P.603 F.1.1
138	慶長18	1614	御使神尾五兵衛守世	献上	徳川家康	年中行事(重編)	時服五領	『台徳院殿御実紀』	23	P.632 F.1.2~P.632 F.1.9
139	慶長18	1614	松平陸奥守政宗	献上	徳川家康	年中行事(歳暮か?)	綿二百把	『台徳院殿御実紀』	24	P.640 F.1.18~P.640 F.1.20
140	慶長18	1614	織田長益入道有楽、細川越中守忠興ら諸大名	献上	徳川秀忠	年中行事(歳暮)	小袖十〜五	『台徳院殿御実紀』	24	P.611 F.1.12~P.611 F.1.8
141	慶長19	1615	左馬允弘定	献上	徳川家康	年中行事(七夕)	紫皮十枚	『台徳院殿御実紀』	26	P.669 F.1.19~P.669 F.1.1

共立女子大学家政学部紀要 第58号 (2012)

142	元和元	1615	細川越中守忠興	献上	徳川家康	年中行事(重陽)	時服二十	『台徳院殿御実紀』	40	P.72 上 L.7~P.72 上 L.10
143	元和元	1615	松前伊豆守康広	献上	徳川秀忠	年中行事(重陽)	時服五襲	『台徳院殿御実紀』	40	P.72 上 L.5~P.72 上 L.6
144	慶長19	1615	水野監物忠元	献上	徳川家康	年中行事(七夕)	帷子五	『台徳院殿御実紀』	26	P.69 上 L.19~P.69 上 L.1
145	元和元	1615	水野監物忠元	献上	徳川家康	年中行事(重陽)	時服	『台徳院殿御実紀』	40	P.71 上 L.7~P.71 上 L.18
146	元和6	1620	金地院崇伝	献上	徳川秀忠の御台所はじめ後園の方々	年中行事(正月)	襦袢、板物、段子等	『台徳院殿御実紀』	52	P.175 上 L.2~P.185 上 L.5
147	元和6	1620	高台院尼	献上	徳川秀忠	年中行事(歳旦)	時服	『台徳院殿御実紀』	53	P.202 下 L.13~P.202 下 L.15
148	元和9	1623	尾張家相森直卿、駿河家相頼房、水戸少将頼房朝臣、越前家相忠直卿、加賀少将利常、松平武蔵守利隆ら	献上	徳川秀忠	年中行事(正月)	時服	『台徳院殿御実紀附録』	3	P.279 上 L.1~P.280 上 L.14
交際や挨拶等										
149	天正3	1575	織田信長	下賜	公食	贈与	木綿二十端	『信長公記』	6	P.109 上 L.1~P.109 上 L.4
150	天正3	1575	織田信長	下賜	伊達輝宗	贈答・返礼	虎皮五枚、豹皮五枚、緞子十巻、しじら二十段	『信長公記』	8	P.118 上 L.9~P.118 上 L.16
151	天正4	1576	織田信長	献上	公家衆	贈答・返礼	反物	『信長公記』	8	P.104 上 L.15~P.110 上 L.2
152	天正7	1579	織田信長	下賜	遠野藤次郎(鷹匠)	贈答・返礼	御服袴(いすれも紋織付、色は十色、御裏衣も十色)、白熊二、虎皮二枚	『信長公記』	12	P.167 上 L.15~P.168 上 L.3
153	天正7	1579	織田信長	下賜	前田保摩守利信	贈答・返礼	御服五少	『信長公記』	12	P.167 上 L.15~P.168 上 L.3
154	天正7	1579	織田信長	下賜	多賀谷修理亮重経	贈答・返礼	御小袖五少、縮三十端	『信長公記』	12	P.159 上 L.9~P.159 上 L.10
155	天正8	1580	織田信長	下賜	大室寺義興	贈答・返礼	小袖、巻物等	『信長公記』	14	P.217 上 L.6~P.217 上 L.7
156	天正8	1580	織田信長	下賜	宇津宮貞林	贈答・返礼	縮緬三十端、豹虎皮袴枚、金襴貳十端、御服一重	『信長公記』	13	P.192 上 L.15~P.193 上 L.2
157	天正8	1580	織田信長	下賜	安東愛季	贈答・返礼	御小袖十御紋在之、純子拾巻	『信長公記』	14	P.217 上 L.8~P.217 上 L.11
158	天正9	1581	織田信長	下賜	織田勝長(織田信長息子・元次郎信玄養子)	贈与の返礼	御小袖	『信長公記』	14	P.221 上 L.10~P.221 上 L.11
159	天正9	1581	織田信長	下賜	長沼山城守広照	贈答・返礼	縮緬首端、紅五十斤、虎皮五枚	『信長公記』	14	P.223 上 L.15~P.224 上 L.1
160	天正10	1582	織田信長	下賜	徳川家康	贈答・返礼	御帷子	『信長公記』	15	P.251 上 L.6~P.251 上 L.9
161	文禄3	1594	前田利家	献上	豊臣秀吉	贈答・返礼	しらが糸二百斤、御小袖五拾四寸唐織、純子(緞子)二十巻、絹二百疋	『太閤記』	16	P.471 上 L.4~P.472 上 L.3
162	不明	不明	前田利家	下賜	直江兼継	贈答・返礼	小袖三、縮服一	『利家夜話』	中	P.576 上 L.7~P.577 上 L.3
163	不明	不明	前田利家	贈与	上杉景勝	贈答・返礼	小袖四段(景勝は断った)	『利家夜話』	中	P.576 上 L.7~P.577 上 L.3
164	不明	不明	前田利家	贈与	上杉景勝	贈答・返礼	小袖十	『利家夜話』	中	P.576 上 L.7~P.577 上 L.3
165	天正16	1588	豊臣秀吉	献上	天皇	贈与	虎皮一枚、小袖三重	『太閤記』	11	P.278 上 L.2~P.280 上 L.10
166	天正16	1588	豊臣秀吉	献上	公家衆	贈与	金襴二十巻、御衣百疋、相ひ疋	『太閤記』	11	P.278 上 L.2~P.280 上 L.10
167	天正18	1591	豊臣秀吉	下賜	徳川秀忠	贈与	衣服あまた	『台徳院殿御実紀』	1	P.379 上 L.20~P.379 下 L.17
168	慶長元	1595	豊臣秀吉	献上	天皇	贈与	金襴純子(緞子)二万端	『太閤記』	16	P.586 上 L.11
169	慶長8	1604	徳川家康	下賜	戸澤九郎五郎政盛	贈与	時服	『東照宮御実紀』	6	P.83 下 L.11~P.83 下 L.12
170	慶長8	1604	徳川家康	下賜	遠田民部少輔利景	贈与	御羽織	『東照宮御実紀』	6	P.86 下 L.0~P.87 上 L.1
171	慶長8	1604	徳川家康	献上	女院	贈与	小袖	『東照宮御実紀』	5	P.78 上 L.10~P.79 上 L.18
172	慶長9	1605	徳川家康	時服	松前志摩守康広	贈与	時服五	『東照宮御実紀』	8	P.106 上 L.2~3
173	慶長11	1607	徳川家康	下賜	青木重勝の妻	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	4	P.327 上 L.4~P.327 上 L.9
174	慶長14	1610	徳川家康	下賜	池田宰相輝成の子	贈与(暇)	縮千把	『台徳院殿御実紀』	9	P.356 上 L.7~P.355 上 L.13
175	慶長14	1610	徳川家康	下賜	松平貞綱守秀行の妻	贈与(暇)	縮千把	『台徳院殿御実紀』	9	P.356 上 L.7~P.356 下 L.4
176	慶長16	1612	徳川家康	下賜	山岡主計眞辰の子	贈与	羽織二	『台徳院殿御実紀』	17	P.563 上 L.18~P.563 上 L.9
177	慶長16	1612	徳川家康	下賜	増上寺、観智院師存応	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	17	P.566 下 L.18~P.566 下 L.20
178	慶長16	1612	徳川家康	下賜	金倉出雲守可重	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	17	P.571 上 L.7~P.571 上 L.10
179	慶長17	1613	徳川家康	下賜	常楽三位為満卿、舟橋式部少輔秀賢等	贈与(暇)	縮百把、帷子五領づつ	『台徳院殿御実紀』	19	P.588 下 L.10~P.588 下 L.13
180	慶長17	1613	徳川家康	下賜	飛鳥井中納言雅康卿	贈与(暇)	縮百把、帷子三領	『台徳院殿御実紀』	19	P.588 下 L.15~P.588 下 L.17
181	慶長17	1613	徳川家康	下賜	南部信濃守利直	贈与・返礼	時服五十領、大純子三十巻、夜物五領、保々緋八間	『台徳院殿御実紀』	20	P.603 下 L.8~P.603 下 L.17
182	慶長18	1614	徳川家康	下賜	式島茂幸	贈与(暇)	時服	『台徳院殿御実紀』	23	P.639 上 L.3~P.639 上 L.6
183	慶長18	1614	徳川家康	下賜	正覺院僧正善海、仙南光坊僧正善海、上野黒根千妙寺僧正亮連雲	贈与	被物三領づつ	『台徳院殿御実紀』	21	P.613 下 L.13~P.613 下 L.17
184	慶長18	1614	徳川家康	下賜	林道信侍勝	贈与	時服一襲	『台徳院殿御実紀』	22	P.624 下 L.6~P.624 下 L.8
185	慶長19	1615	徳川家康	下賜	五山僧等	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	26	P.665 下 L.11
186	慶長19	1615	徳川家康	下賜	能大夫人六十余人	贈与	唐織、時服	『台徳院殿御実紀』	26	P.666 下 L.10~P.666 下 L.11
187	慶長19	1615	徳川家康	下賜	大朝寺	贈与	小袖五	『台徳院殿御実紀』	28	P.699 上 L.6~P.699 下 L.17
188	慶長19	1615	徳川家康	下賜	松崎寺、信光明寺、大林寺、随念寺、高月院	贈与	小袖一襲づ	『台徳院殿御実紀』	28	P.699 上 L.6~P.699 下 L.17
189	元和元	1615	徳川家康	献上	後水尾天皇	贈与	縮二百把	『台徳院殿御実紀』	38	P.716 上 L.9~P.716 上 L.14
190	元和元	1615	徳川家康	献上	女院、女御	贈与	縮百把づつ	『台徳院殿御実紀』	38	P.716 上 L.9~P.716 上 L.14
191	元和元	1615	徳川家康	献上	長橋局	贈与	縮三十把	『台徳院殿御実紀』	38	P.716 上 L.9~P.716 上 L.14
192	慶長19	1615	徳川家康	下賜	豊臣秀頼	贈与(暇)	紅裏の紋付の小袖	『台徳院殿御実紀』	27	P.679 下 L.13~P.679 下 L.18
193	慶長19	1615	徳川家康	献上	後水尾天皇、仙洞、女院、女御	贈与	縮三百把	『台徳院殿御実紀』	33	P.710 下 L.17~P.761 上 L.1

近世初期上流武家における贈答染織品の実態に関する研究

194	元和2	1616	徳川家康	上賜	西宮奏(公家)	贈与	小袖・三枚づつ	『台徳院殿御史記』	41	P.90 F.10~P.91 F.18
195	永禄〜天正 年間頃か?	1558〜1590 頃か?	徳川家康	上賜	東大寺清涼院、大醫院等の 法庫	贈与	衣服等	『東照宮御史記』	24	P.377 上.16〜P.377 下.19
196	慶長8	1604	徳川秀忠	上賜	牧野成里入道一乗	贈与	長袴	『東照宮御史記』	7	P.389 F.16〜P.398 F.149
197	慶長10	1606	徳川秀忠	上賜	油江御殿	贈答・返礼	時服	『台徳院殿御史記』	1	P.298 F.11〜P.384 F.144
198	慶長10	1606	徳川秀忠	上賜	松平直政	贈与	時服	『台徳院殿御史記』	1	P.388 下.18〜P.388 F.120
199	慶長10	1606	徳川秀忠	献上	後關成天皇	贈与	綿・吉把	『東照宮御史記』	10	P.128 F.18〜P.129 F.14
200	慶長10	1606	徳川秀忠	献上	女御	贈与	綿・吉把	『東照宮御史記』	10	P.128 F.18〜P.129 F.14
201	慶長10	1606	徳川秀忠	献上	女院	贈与	小袖	『東照宮御史記』	10	P.128 F.18〜P.129 F.14
202	慶長11	1607	徳川秀忠	献上	藤室高虎	贈与	御服	『台徳院殿御史記』	4	P.121 下.23〜P.122 F.12
203	慶長11	1607	徳川秀忠	下賜	松下・摩井伊直勝の家 主(家臣)	贈与・返礼	御紋の羽織	『台徳院殿御史記』	3	P.107 上.1〜P.107 F.10
204	慶長12	1608	徳川秀忠	献上	宮中	贈答・返礼	拾・上・帷子・1、單物 七(十)	『台徳院殿御史記』	6	P.143 F.11〜P.144 F.124
205	慶長13	1609	徳川秀忠	贈与	阿茶局(家康妻)	贈与	衣服若干	『台徳院殿御史記』	7	P.151 F.13〜P.155 F.14
206	慶長13	1609	徳川秀忠	献上	徳川家康	贈与	拾・上・單物・1、帷子 七(十)	『台徳院殿御史記』	8	P.165 上.14〜P.167 F.124
207	慶長13	1609	徳川秀忠	献上	神田院梵尊	贈与	時服 襷	『台徳院殿御史記』	8	P.168 F.18
208	慶長15	1611	徳川秀忠	上賜	松前伊豆守舜盛	贈与(贈)	時服五	『台徳院殿御史記』	12	P.508 F.16〜P.508 F.132
209	慶長15	1611	徳川秀忠	上賜	松平五郎八右衛門	贈与	時服	『台徳院殿御史記』	14	P.512 F.10〜P.512 F.144
210	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	舟橋式部少輔秀賢	贈与	時服一襲	『台徳院殿御史記』	17	P.564 上.18〜P.564 F.144
211	慶長16	1612	徳川秀忠	献上	徳川家康	贈与	時服五	『台徳院殿御史記』	18	P.580 F.18〜P.580 F.142
212	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	竹篠山藤正五郎	贈与	御衣	『台徳院殿御史記』	18	P.580 F.18〜P.580 F.146
213	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	豊後国森岡上米島右衛門・長 子	贈与	若御の服二箇	『台徳院殿御史記』	18	P.581 下.10〜P.581 F.144
214	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	藤室長守舜虎	贈与	小袖二上	『台徳院殿御史記』	18	P.581 F.18〜P.581 F.148
215	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	幸田直興	贈与	時服五	『台徳院殿御史記』	17	P.509 上.17〜P.509 F.143
216	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	山田南光伊備正海	贈与	時服	『台徳院殿御史記』	18	P.583 F.17〜P.583 F.144
217	慶長17	1613	徳川秀忠	下賜	最上内府直義光	贈与	時服、頭巾	『台徳院殿御史記』	20	P.604 上.14〜P.604 F.140
218	元和元	1615	徳川秀忠	下賜	松前伊豆守舜虎	贈与(贈)	時服羽織	『台徳院殿御史記』	39	P.69 上.16〜P.69 F.144
219	元和元	1615	徳川秀忠	下賜	千原富直部大衛朝太	贈与	時服五上	『台徳院殿御史記』	36	P.132 F.18〜P.132 F.18
220	元和元	1615	徳川秀忠	下賜	其家人安武久兵衛	贈与	時服	『台徳院殿御史記』	36	P.132 F.18〜P.132 F.18
221	元和元	1615	徳川秀忠	献上	宮中	贈与	綿五吉把	『台徳院殿御史記』	38	P.54 下.17〜P.55 F.14
222	元和元	1615	徳川秀忠	献上	女院、女御	贈与	綿五吉把	『台徳院殿御史記』	38	P.54 下.17〜P.55 F.14
223	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	竹篠山藤正五郎の子源 太	贈与	着御の拾衣(セウイ)	『台徳院殿御史記』	26	P.661 下.7〜P.662 F.144
224	慶長19	1615	徳川秀忠	上賜	成土守常高源二部末房 梅好の十八人具外	贈与	時服五	『台徳院殿御史記』	29	P.706 F.17〜P.706 F.124
225	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	松平千徳五郎	贈与	時服	『台徳院殿御史記』	29	P.708 F.15〜P.708 F.147
226	慶長19	1615	徳川秀忠	上賜	知恩院大僧正	贈与	金襴、轡子、纏珍各 五卷	『台徳院殿御史記』	29	P.713 F.13〜P.734 F.16
227	慶長19	1615	徳川秀忠	上賜	家人日比守右衛門	贈与	時服	『台徳院殿御史記』	30	P.715 F.123〜P.71

共立女子大学家政学部紀要 第58号 (2012)

258	慶長13	1609	二位法印義入道制伯	献上	徳川秀忠	贈与	蝦子五十端	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.L.22~P.457 E.L.2
259	慶長13	1609	杉右衛門某	献上	徳川秀忠	贈与	曬布二十疋	『台徳院殿御実紀』	7	P.461 E.L.2~P.461 E.L.3
260	慶長13	1609	東福寺南門院	献上	徳川秀忠	贈与	蝦子	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 E.L.8~P.465 E.L.9
261	慶長13	1609	吉田六左衛門	献上	徳川秀忠	贈与	蝦子道服(胴服)五	『台徳院殿御実紀』	7	P.460 F.L.15~P.460 F.L.17
262	慶長13	1609	細川内記忠利、船越五郎右衛門景直	献上	徳川秀忠	贈与	蝦子五	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 E.L.7~P.463 E.L.10
263	慶長13	1609	本願寺門跡光寿	献上	徳川秀忠	贈与	生絹(紺下)上	『台徳院殿御実紀』	7	P.461 E.L.6~P.461 E.L.12
264	慶長13	1609	松平右衛門警利隆	献上	徳川秀忠	贈与	紫革五枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.464 E.L.19~P.464 E.L.22
265	慶長13	1609	松平三河守直道	献上	徳川秀忠	贈与	綿五百把	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.L.15~P.464 E.L.1
266	慶長13	1609	堀西堂瑞庵主	献上	徳川秀忠	贈与	白羽三重	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.L.21~P.456 F.L.22
267	慶長13	1609	伊東丹後守長次	献上	徳川秀忠	贈与	道服(胴服)二	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.L.15~P.467 E.L.23
268	慶長13	1609	稲葉彦六典通	献上	徳川秀忠	贈与	道服(胴服)五、紙、道服(胴服)五	『台徳院殿御実紀』	8	P.470 E.L.23~P.470 F.L.2
269	慶長13	1609	稲葉彦六典通	献上	徳川秀忠	贈与	羽織二	『台徳院殿御実紀』	8	P.464 E.L.19~P.464 E.L.22
270	慶長13	1609	日光寺二堂	献上	徳川秀忠	贈与	袴	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.L.17~P.456 F.L.20
271	慶長13	1609	遠山勘九郎万景	献上	徳川家康	贈与	紫革五枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 E.L.11~P.465 E.L.21
272	慶長13	1609	横山山城守、奥村伊与守(松平筑前守利常家臣)	献上	徳川秀忠	贈与	小袖五つ	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 E.L.8~P.468 F.L.15
273	慶長13	1609	加藤左馬助嘉明	献上	徳川秀忠	贈与	綿三百把	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 E.L.8~P.468 F.L.15
274	慶長13	1609	加藤式部少輔明成	献上	徳川秀忠	贈与	蝦子夜着二、蒲団一	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 E.L.8~P.468 F.L.15
275	慶長13	1609	間長長門守 政	献上	徳川秀忠	贈与	羽織五、袴五、單物五	『台徳院殿御実紀』	8	P.461 E.L.19~P.461 E.L.22
276	慶長13	1609	関東郡代伊奈備前守忠次	献上	徳川秀忠	贈与	紅花五十斤	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 E.L.13~P.463 E.L.16
277	慶長13	1609	関東郡代伊奈備前守忠次	献上	徳川秀忠	贈与	紫皮二十張	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 E.L.13~P.463 E.L.16
278	慶長13	1609	紀伊守幸長	献上	徳川秀忠	贈与	小袖十、羽織十	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.L.6~P.456 F.L.9
279	慶長13	1609	吉田二位兼見卿	献上	徳川秀忠	贈与	袴二	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 E.L.24~P.465 F.L.2
280	慶長13	1609	結城城道四	献上	徳川秀忠	贈与	紫皮(革下)二枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.L.15~P.461 E.L.1
281	慶長13	1609	久野三郎右衛門吉能	献上	徳川秀忠	贈与	間束絹百把	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 E.L.8~P.468 F.L.15
282	慶長13	1609	朽木河内守元綱	献上	徳川家康	贈与	道服(胴服)三、小袖三	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 E.L.11~P.465 E.L.21
283	慶長13	1609	金森出雲守重	献上	徳川秀忠	贈与	小袖十	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.L.21~P.470 E.L.5
284	慶長13	1609	九鬼長門守守勝	献上	徳川秀忠	贈与	單物十	『台徳院殿御実紀』	7	P.461 E.L.3~P.461 E.L.6
285	慶長13	1609	古田織部正重勝	献上	徳川秀忠	贈与	拾上	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 F.L.11~P.466 E.L.5
286	慶長13	1609	光明寺	献上	徳川秀忠	贈与	金襴二巻	『台徳院殿御実紀』	8	P.470 E.L.23~P.470 F.L.2
287	慶長13	1609	江州石山寺佛院	献上	徳川秀忠	贈与	白練一束一本、紫皮	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.L.23~P.469 E.L.6
288	慶長13	1609	江州菩提院	献上	徳川秀忠	贈与	綿子一卷	『台徳院殿御実紀』	8	P.470 E.L.19~P.470 E.L.23
289	慶長13	1609	高野山衆徒中	献上	徳川秀忠	贈与	蝦子	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.L.17~P.456 F.L.20
290	慶長13	1609	最上出羽守義光家臣坂上紀伊守	献上	徳川秀忠	贈与	最上綿五十把	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.L.23~P.469 E.L.6
291	慶長13	1609	堀宗益	献上	徳川家康	贈与	紅糸一斤	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 E.L.11~P.465 E.L.21
292	慶長13	1609	糸屋七郎右衛門	献上	徳川秀忠	贈与	せて二巻	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.L.15~P.464 E.L.1
293	慶長13	1609	寺澤忠庵守高	献上	徳川秀忠	贈与	小袖二	『台徳院殿御実紀』	8	P.470 E.L.23~P.470 F.L.2
294	慶長13	1609	秋月長門守	献上	徳川秀忠	贈与	小袖二	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.L.21~P.470 E.L.5
295	慶長13	1609	秋山左二部	献上	徳川秀忠	贈与	呉薩革一枚	『台徳院殿御実紀』	7	P.460 F.L.15~P.460 F.L.17
296	慶長13	1609	細井師道満大	献上	徳川秀忠	贈与	蝦子二巻	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.L.15~P.464 E.L.1
297	慶長13	1609	小出播磨守吉政	献上	徳川家康	贈与	小袖三	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 E.L.11~P.465 E.L.21
298	慶長13	1609	小出播磨守吉政、小出右兵衛大夫吉英、小出信濃守吉親	献上	徳川秀忠	贈与	拾十〜五	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.L.15~P.464 E.L.1
299	慶長13	1609	小西七左衛門某	献上	徳川秀忠	贈与	綿子十巻、天竺絨二巻	『台徳院殿御実紀』	8	P.461 E.L.19~P.464 E.L.22
300	慶長13	1609	小川豊岐守某	献上	徳川秀忠	贈与	越前百把	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.L.15~P.467 E.L.23
301	慶長13	1609	松倉豊後守重政	献上	徳川秀忠	贈与	小袖六	『台徳院殿御実紀』	8	P.473 F.L.8~P.473 F.L.9
302	慶長13	1609	松平越後守忠俊	献上	徳川秀忠	贈与	白布六〜七巻	『台徳院殿御実紀』	7	P.461 E.L.6~P.461 F.L.12
303	慶長13	1609	松平下總守忠明	献上	徳川秀忠	贈与	袴五、帷子五、大緒五十筋	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.L.15~P.461 E.L.1
304	慶長13	1609	松平玄蕃頭家清	献上	徳川秀忠	贈与	越前綿百把	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.L.15~P.467 E.L.23
305	慶長13	1609	松平筑前守利常、山内尉忠、子忠義ら	献上	徳川秀忠	贈与	小袖二枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 E.L.8~P.468 F.L.15
306	慶長13	1609	松平伯耆守忠	献上	徳川秀忠	贈与	綿一把	『台徳院殿御実紀』	8	P.470 E.L.16~P.470 F.L.17
307	慶長13	1609	松平伯耆守忠一、藤田孫市郎長則	献上	徳川秀忠	贈与	小袖十	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.L.23~P.469 E.L.6
308	慶長13	1609	松平武蔵守利隆	献上	徳川秀忠	贈与	小袖二十、銀五百枚、綿百把	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 E.L.8~P.468 F.L.15
309	慶長13	1609	上總守輝朝臣	献上	徳川家康	贈与	越後布百匹、金川二百把	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 E.L.11~P.465 E.L.21
310	慶長13	1609	織田源五兵衛入道有榮	献上	徳川秀忠	贈与	夜着三	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.L.23~P.469 E.L.6
311	慶長13	1609	織田左門長、奈良町平市人	献上	徳川秀忠	贈与	曬布五〜十匹	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.L.15~P.464 E.L.1
312	慶長13	1609	織田民部大輔仁重	献上	徳川秀忠	贈与	夜着三	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.L.15~P.467 E.L.23
313	慶長13	1609	織田民部大輔信重	献上	徳川秀忠	贈与	小袖二	『台徳院殿御実紀』	8	P.469 E.L.22~P.469 F.L.3
314	慶長13	1609	神樂院梵尊	献上	徳川秀忠	贈与	時服二襲	『台徳院殿御実紀』	8	P.467 F.L.23~P.468 E.L.1
315	慶長13	1609	杉原越後守某	献上	徳川秀忠	贈与	呉薩革一枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.L.15~P.469 E.L.6
316	慶長13	1609	杉原伯耆守長房	献上	徳川秀忠	贈与	綿五十把	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.L.15~P.467 E.L.23
317	慶長13	1609	生駒謙岐守一正	献上	徳川秀忠	贈与	虎皮二枚、呉々綿	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.L.15~P.467 E.L.23
318	慶長13	1609	生駒謙岐守一正	献上	徳川秀忠	贈与	紫皮二枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.469 E.L.16~P.469 F.L.3
319	慶長13	1609	青葉玄仙	献上	徳川秀忠	贈与	蝦子	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.L.17~P.456 F.L.20
320	慶長13	1609	青山左近某	献上	徳川秀忠	贈与	大緒三筋	『台徳院殿御実紀』	8	P.470 E.L.23~P.470 F.L.2

近世初期上流武家における贈答染織品の実態に関する研究

321	慶長13	1609	吉本民部少輔	献上	徳川秀忠	贈与	一重綴子の袴	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.1.2~P.456 F.1.4
322	慶長13	1609	吉本刑部卿法印市右衛門	献上	徳川秀忠	贈与	大裾絨二巻	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 F.1.11~P.466 F.1.5
323	慶長13	1609	吉本民部少輔	献上	徳川秀忠	贈与	一重綴子蒲団	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.1.15~P.467 F.1.24
324	慶長13	1609	川勝仁満守玄綱	献上	徳川家康	贈与	毛氈五枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 F.1.11~P.466 F.1.24
325	慶長13	1609	浅野彈正少輔長政	献上	徳川秀忠	贈与	小袖四	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.1.6~P.456 F.1.9
326	慶長13	1609	浅野彈正少輔長政	献上	徳川秀忠	贈与	縮百把	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.1.2~P.456 F.1.4
327	慶長13	1609	前田中納言利長卿光忠	献上	徳川秀忠	贈与	紅羽二重二白端	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.1.23~P.469 F.1.6
328	慶長13	1609	増上寺存仁	献上	徳川家康	贈与	綴子一巻	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 F.1.11~P.465 F.1.24
329	慶長13	1609	速水右兵衛尉英三	献上	徳川秀忠	贈与	大裾	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.1.15~P.467 F.1.23
330	慶長13	1609	太田新左衛門仙盛	献上	徳川秀忠	贈与	大緒五筋	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 F.1.11~P.466 F.1.5
331	慶長13	1609	如恩院	献上	徳川秀忠	贈与	厚板五端	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.1.22~P.457 F.1.2
332	慶長13	1609	池田幸相輝政	献上	徳川秀忠	贈与	大緒十筋	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.1.6~P.456 F.1.9
333	慶長13	1609	池田備中守長五郎、佐竹右京大義五郎	献上	徳川秀忠	贈与	小袖一〜二	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.1.8~P.468 F.1.15
334	慶長13	1609	中坊久三郎某	献上	徳川秀忠	贈与	紫革十枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.1.7~P.463 F.1.10
335	慶長13	1609	色居左門忠頼	献上	徳川秀忠	贈与	縮三十把	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 F.1.11~P.466 F.1.5
336	慶長13	1609	大膳喜八	献上	徳川秀忠	贈与	紫二枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.1.23~P.469 F.1.6
337	慶長13	1609	佐々木権大納言兼勝卿、駒修守中納言光豊卿	献上	徳川秀忠	贈与	小袖二	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.1.15~P.467 F.1.23
338	慶長13	1609	島津堪洋守忠継	献上	徳川秀忠	贈与	金襴	『台徳院殿御実紀』	7	P.456 F.1.22~P.457 F.1.2
339	慶長13	1609	島津陸奥守家久	献上	徳川秀忠	贈与	小袖五	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.1.24~P.470 F.1.5
340	慶長13	1609	薩摩将監寛	献上	徳川秀忠	贈与	小袖	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 F.1.10~P.465 F.1.11
341	慶長13	1609	薩摩和泉守	献上	徳川秀忠	贈与	稚子二	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.1.7~P.463 F.1.10
342	慶長13	1609	徳永左馬助昌重	献上	徳川秀忠	贈与	小袖二	『台徳院殿御実紀』	8	P.470 F.1.22~P.470 F.1.24
343	慶長13	1609	南郷守宗盛	献上	徳川秀忠	贈与	縮絨一卷	『台徳院殿御実紀』	7	P.461 F.1.6~P.461 F.1.12
344	慶長13	1609	富田・護守知信	献上	徳川家康	贈与	小袖十	『台徳院殿御実紀』	8	P.469 F.1.6
345	慶長13	1609	分部左京亮光信	献上	徳川秀忠	贈与	首服(胸服)五	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.1.24~P.470 F.1.2
346	慶長13	1609	千野忠五郎、万屋市右衛門	献上	徳川秀忠	贈与	大白糸二斤	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.1.15~P.464 F.1.1
347	慶長13	1609	片桐市正且元	献上	徳川秀忠	贈与	縮子二一端	『台徳院殿御実紀』	8	P.465 F.1.11~P.466 F.1.5
348	慶長13	1609	珠賀賀阿波守至鎮、松平伯耆守忠二	献上	徳川秀忠	贈与	唐織夜着三	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.1.15~P.467 F.1.23
349	慶長13	1609	坊宮下間宮内卿、狩野右近孝信	献上	徳川秀忠	贈与	大緒五筋	『台徳院殿御実紀』	7	P.464 F.1.6~P.464 F.1.12
350	慶長13	1609	堀越馬守某	献上	徳川秀忠	贈与	稚子五	『台徳院殿御実紀』	7	P.464 F.1.6~P.464 F.1.12
351	慶長13	1609	堀尾祐吉吉晴	献上	徳川秀忠	贈与	小袖二上、銀三白枚、唐織夜着三、縮蒲団一(長綴子)	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.1.15~P.467 F.1.23
352	慶長13	1609	本多出雲守忠朝	献上	徳川秀忠	贈与	紅花三白斤	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.1.6
353	慶長13	1609	本多縫殿助康俊、小里助右衛門光親主	献上	徳川秀忠	贈与	江戸縮百〜五十把	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.1.15~P.467 F.1.23
354	慶長13	1609	本多豊後守康重、遠藤祖馬守慶隆、北平主殿頭忠利	献上	徳川秀忠	贈与	美濃縮 百〜五十把	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.1.15~P.467 F.1.23
355	慶長13	1609	毛利伊勢守高政	献上	徳川秀忠	贈与	小袖五	『台徳院殿御実紀』	8	P.467 F.1.29~P.467 F.1.23
356	慶長13	1609	毛利藤七郎秀就	献上	徳川秀忠	贈与	小袖三上	『台徳院殿御実紀』	8	P.468 F.1.23~P.469 F.1.6
357	慶長13	1609	本下右衛門大夫延俊	献上	徳川秀忠	贈与	猩々緋合羽上、虎皮五枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.467 F.1.19~P.467 F.1.23
358	慶長13	1609	有馬玄蕃頭豊氏、原権幸相高次郎	献上	徳川秀忠	贈与	小袖十	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.1.15~P.467 F.1.23
359	慶長13	1609	淀次郎右衛門	献上	徳川秀忠	贈与	五色糸一疋	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.1.15~P.464 F.1.1
360	慶長13	1609	西暮彌左衛門	献上	徳川秀忠	贈与	縮子二端	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 F.1.15~P.464 F.1.1
361	慶長13	1609	鈴木越中守重愛	献上	徳川秀忠	贈与	紫革十枚	『台徳院殿御実紀』	8	P.466 F.1.15~P.467 F.1.23
362	慶長14	1610	島津兵衛頭入道惟新	献上	徳川秀忠	贈与・返礼	綴子十巻	『台徳院殿御実紀』	11	P.502 F.1.24~P.503 F.1.2
363	慶長14	1610	島津陸奥守家久	献上	徳川秀忠	贈与・返礼	縮珍十巻	『台徳院殿御実紀』	11	P.503 F.1.13~P.503 F.1.16
364	慶長14	1610	藤室和泉守虎茂	献上	徳川家康	贈答・返礼	時服五	『台徳院殿御実紀』	9	P.482 F.1.2~P.482 F.1.4
365	慶長15	1611	よかちの局はじめ五人の女房達	献上	徳川家康	贈与	純子二端	『台徳院殿御実紀』	13	P.525 F.1.18~P.525 F.1.24
366	慶長15	1611	豊臣秀頼	献上	尾張幸相義直卿	贈与・返礼	綴子白巻、小袖道服(胸服)	『台徳院殿御実紀』	14	P.548 F.1.14~P.549 F.1.14
367	慶長15	1611	豊臣秀頼	献上	遠江幸相頼宣卿	贈与・返礼	市家の装束(半臂三、袴三、上切三、大目二)	『台徳院殿御実紀』	14	P.548 F.1.14~P.549 F.1.14
368	慶長15	1611	豊臣秀頼	献上	徳川家康	贈与	猩々緋二枚、綴子十巻	『台徳院殿御実紀』	14	P.545 F.1.14~P.545 F.1.16
369	慶長15	1611	御台所(お江の方)	下賜	金地院崇伝	贈与(明)	時服 襲、まげ	『台徳院殿御実紀』	13	P.535 F.1.4~P.535 F.1.7
370	慶長15	1611	細川越中守忠興	献上	徳川秀忠	贈与	羅羅田(シヤム)の白縮	『台徳院殿御実紀』	14	P.559 F.1.6~P.559 F.1.8
371	慶長15	1611	常陸介頼宣朝臣	献上	徳川家康	贈与	紅糸五十五斤	『台徳院殿御実紀』	13	P.525 F.1.18~P.525 F.1.24
372	慶長15	1611	神曲院梵尊	献上	阿茶の局(徳川家康側室)	贈与	金箔帯一腰	『台徳院殿御実紀』	14	P.535 F.1.20~P.535 F.1.4
373	慶長15	1611	中山王尚寧	献上	徳川秀忠	贈与	純子百巻、羅紗三巻、色布百巻、太平巾一巻	『台徳院殿御実紀』	13	P.525 F.1.21~P.526 F.1.6
374	慶長15	1611	島津陸奥守家久	献上	徳川家康	贈与	太平巾五一端、純子五上巻	『台徳院殿御実紀』	13	P.525 F.1.18~P.525 F.1.24
375	慶長15	1611	島津陸奥守家久	献上	徳川秀忠	贈与	綴子百巻、虎皮十枚、太平巾一疋、色布百端	『台徳院殿御実紀』	13	P.527 F.1.19~P.528 F.1.4

共立女子大学家政学部紀要 第58号 (2012)

376	慶長15	1611	島津陸奥守家久	献上	徳川家光	贈与	緋子五十巻、太平布百疋、紅糸百斤	『台徳院殿御実紀』	13	P.527 F.L.19~P.528 F.L.1
377	慶長15	1611	南部喜多院	下賜	宮中	贈与	時服二	『台徳院殿御実紀』	16	P.560 F.L.22~P.560 F.L.23
378	慶長15	1611	如見吉晴	献上	徳川家康	贈与	緋子	『台徳院殿御実紀』	12	P.516 F.L.20~P.516 F.L.24
379	慶長15	1611	如見吉晴	献上	徳川秀忠	贈与	南京織物	『台徳院殿御実紀』	12	P.516 F.L.20~P.516 F.L.23
380	慶長15	1611	如見吉晴	献上	徳川家光	贈与	広東織物	『台徳院殿御実紀』	12	P.516 F.L.20~P.516 F.L.24
381	慶長15	1611	如見吉晴	献上	御台所(お江与の方)	贈与	緋子	『台徳院殿御実紀』	12	P.516 F.L.20~P.516 F.L.24
382	慶長15	1611	森原大夫兼従	献上	徳川家康	贈与	巻物1束	『台徳院殿御実紀』	14	P.535 F.L.20~P.535 F.L.24
383	慶長15	1611	森原大夫兼従	献上	阿茶の局(徳川家康側室)	贈与	小袖二	『台徳院殿御実紀』	14	P.535 F.L.20~P.535 F.L.24
384	慶長15	1611	尾張宰相義直卿	下賜	淀殿	贈与・返礼	緋子百把	『台徳院殿御実紀』	14	P.548 F.L.14~P.549 F.L.11
385	慶長15	1611	尾張宰相義直卿	下賜	北力	贈与・返礼	緋子百把、紅花三百斤	『台徳院殿御実紀』	14	P.548 F.L.14~P.549 F.L.11
386	慶長15	1611	尾張宰相義直卿、遠江宰相頼直卿	下賜	淀殿、北方、局たち	贈与・返礼	緋子二百枚、紅花三百斤、緋子三百把、緋子十把	『台徳院殿御実紀』	14	P.548 F.L.14~P.549 F.L.11
387	慶長16	1612	加藤肥後守忠広	献上	徳川家康	贈与	時服1領、帷子十領	『台徳院殿御実紀』	18	P.581 F.L.24~P.582 F.L.6
388	慶長16	1612	京極若狭守忠高	献上	徳川家康	贈与	夜着二領	『台徳院殿御実紀』	18	P.569 F.L.21~P.569 F.L.23
389	慶長16	1612	京極若狭守忠高、同丹後守忠知	献上	徳川家康	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	17	P.567 F.L.9~P.567 F.L.12
390	慶長16	1612	寺澤志摩守忠高	献上	徳川家康	贈与	緋子十巻	『台徳院殿御実紀』	17	P.569 F.L.22~P.569 F.L.24
391	慶長16	1612	松平筑前守利常	献上	徳川秀忠	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	18	P.567 F.L.3~P.567 F.L.5
392	慶長16	1612	松平陸奥守政三	献上	徳川家康	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	18	P.568 F.L.7~P.568 F.L.15
393	慶長16	1612	織田長益入道有楽	献上	徳川家康	贈与・返礼	時服五領	『台徳院殿御実紀』	17	P.570 F.L.3~P.570 F.L.9
394	慶長16	1612	生駒運崎守正俊	献上	徳川秀忠	贈与	紫衣百枚	『台徳院殿御実紀』	17	P.563 F.L.13~P.563 F.L.16
395	慶長16	1612	浅野紀伊守幸長	献上	徳川秀忠	贈与	時服五領	『台徳院殿御実紀』	18	P.567 F.L.16~P.567 F.L.18
396	慶長16	1612	池田少将政	献上	徳川秀忠	贈与	時服五領	『台徳院殿御実紀』	18	P.567 F.L.18~P.567 F.L.21
397	慶長16	1612	池田備中守長吉	献上	徳川家康	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	17	P.569 F.L.10
398	慶長16	1612	田中筑後守忠政	献上	徳川家康	贈与	黒羅紗十間	『台徳院殿御実紀』	18	P.568 F.L.22~P.568 F.L.23
399	慶長16	1612	鍋島仁濃守勝茂使	献上	徳川家康	贈与	呉々緋三間	『台徳院殿御実紀』	18	P.581 F.L.21~P.582 F.L.6
400	慶長16	1612	片桐主膳正貞隆	献上	徳川秀忠	贈与	時服二領	『台徳院殿御実紀』	17	P.563 F.L.13~P.563 F.L.16
401	慶長16	1612	豊臣秀頼	献上	徳川家康	贈与	時服一領	『台徳院殿御実紀』	17	P.570 F.L.3~P.570 F.L.9
402	慶長16	1612	有馬左衛門佐直純	献上	徳川家康	贈与	緋子十巻	『台徳院殿御実紀』	17	P.570 F.L.16~P.570 F.L.18
403	慶長17	1613	加藤左衛門尉貞吉	献上	徳川家康	贈与	緋子十疋	『台徳院殿御実紀』	18	P.585 F.L.8~P.585 F.L.10
404	慶長17	1613	九鬼長門守守隆の二男太五郎長隆	献上	徳川秀忠	贈与	単物五領	『台徳院殿御実紀』	19	P.588 F.L.21~P.589 F.L.18
405	慶長17	1613	古田織部正重然	献上	徳川家康	贈与	羽織一両	『台徳院殿御実紀』	20	P.596 F.L.2~P.596 F.L.5
406	慶長17	1613	五島孫次郎盛利	献上	徳川秀忠	贈与	黄縷子五巻	『台徳院殿御実紀』	19	P.588 F.L.18~P.588 F.L.20
407	慶長17	1613	寺澤志摩守忠高	献上	徳川秀忠	贈与	緋子五巻	『台徳院殿御実紀』	19	P.588 F.L.18~P.588 F.L.20
408	慶長17	1613	松浦源三郎勝信	献上	徳川家康	贈与	緋子五巻	『台徳院殿御実紀』	20	P.597 F.L.11~P.597 F.L.14
409	慶長17	1613	森右近大夫忠政	献上	徳川秀忠	贈与	帷子十領、単物十領	『台徳院殿御実紀』	19	P.588 F.L.21~P.589 F.L.8
410	慶長17	1613	島津陸奥守家久	献上	徳川家康	贈与	緋子百把、紅絹(緋子)百疋、苧葉絹百疋	『台徳院殿御実紀』	19	P.590 F.L.3~P.590 F.L.9
411	慶長17	1613	南部利直	献上	徳川家康	贈与・返礼	黒の馬に唐織の馬衣かいたる	『台徳院殿御実紀』	20	P.603 F.L.8~P.603 F.L.17
412	慶長17	1613	木下右衛門大夫延俊	献上	徳川家康	贈与・返礼	緋子二(百)把(十)	『台徳院殿御実紀』	20	P.603 F.L.8~P.603 F.L.17
413	慶長18	1614	佐竹右京大夫義立	献上	徳川家康	贈与	時服一	『台徳院殿御実紀』	22	P.619 F.L.3~P.619 F.L.1
414	慶長18	1614	松平筑前守利常	献上	徳川家康	贈与	緋子百把、紅絹(緋子)百疋、苧葉絹百疋	『台徳院殿御実紀』	22	P.623 F.L.5~P.623 F.L.8
415	慶長18	1614	松平陸奥守政三	献上	徳川家康	贈与	時服一領	『台徳院殿御実紀』	22	P.620 F.L.21~P.620 F.L.23
416	慶長18	1614	神庭院梵尊	下賜	徳川秀忠	贈与	時服二領	『台徳院殿御実紀』	22	P.622 F.L.1~P.622 F.L.5
417	慶長18	1614	忠輝朝臣	献上	徳川家康	贈与	時服一領	『台徳院殿御実紀』	22	P.620 F.L.16~P.620 F.L.8
418	慶長18	1614	森原左兵衛兼従	献上	徳川秀忠	贈与	単物二、袴二	『台徳院殿御実紀』	22	P.621 F.L.19~P.621 F.L.22
419	慶長18	1614	有馬大学豊長	下賜	徳川家康	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	24	P.642 F.L.13~P.642 F.L.21
420	慶長19	1615	諸大名	献上	天皇、院、女御	贈与	緋子一巻	『台徳院殿御実紀』	25	P.656 F.L.1~P.656 F.L.9
421	慶長19	1615	諸大名	献上	長崎島、大御乳人、權大納言、局	贈与	板物一反づつ	『台徳院殿御実紀』	25	P.656 F.L.4~P.656 F.L.9
422	慶長19	1615	前田利長	贈与	家司奥村河内子、奥村撰作子	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	27	P.682 F.L.4~P.682 F.L.14
423	慶長19	1615	前田利長	贈与	阿茶、悦、万、龜四人の局	贈与	緋子百把	『台徳院殿御実紀』	27	P.682 F.L.2~P.682 F.L.14
424	慶長19	1615	前田利長	贈与	夏之局	贈与	緋子百把	『台徳院殿御実紀』	27	P.682 F.L.2~P.682 F.L.14
425	慶長19	1615	前田利長	贈与	木下十野介正純、安藤常刀直次、成瀬隼人正正成ら諸大名	贈与	小袖十〜二	『台徳院殿御実紀』	27	P.682 F.L.2~P.682 F.L.14
426	元和元	1615	豊臣秀頼	献上	徳川秀忠	贈与(和陸)	染物箱の小夜物二、緋子箱の小夜物二、おがし(絹子)二、緋子箱二	『台徳院殿御実紀』	34	P.4 F.L.5~P.4 F.L.11
427	元和元	1615	豊臣秀頼	献上	徳川家康	贈与(和陸)	金襴一巻	『台徳院殿御実紀』	34	P.8 F.L.2~P.8 F.L.17
428	元和元	1615	井伊掃部頭直孝	献上	徳川家康	贈与	時服一	『台徳院殿御実紀』	40	P.72 F.L.8~P.72 F.L.11
429	慶長19	1615	越前少将忠貞朝臣	献上	徳川家康	贈与	緋子百把	『台徳院殿御実紀』	26	P.659 F.L.3~P.659 F.L.6
430	慶長19	1615	加藤式部少輔明成	献上	徳川家康	贈与	緋子百把、給衣十	『台徳院殿御実紀』	26	P.664 F.L.1~P.664 F.L.8
431	慶長19	1615	加藤肥後守忠広	献上	徳川家康	贈与	時服一、袴二十	『台徳院殿御実紀』	26	P.659 F.L.11~P.659 F.L.13
432	元和元	1615	加藤肥後守忠広	献上	徳川秀忠	贈与	帷子	『台徳院殿御実紀』	39	P.59 F.L.6~P.55 F.L.8
433	元和元	1615	我宗祖弘法无	下賜	天台僧	贈与	紫衣	『台徳院殿御実紀』	38	P.48 F.L.15~P.48 F.L.20
434	慶長19	1615	菊亭中納言、経季卿	献上	徳川秀忠	贈与	羽織	『台徳院殿御実紀』	32	P.746 F.L.21~P.746 F.L.24
435	元和元	1615	金徳院梵僧	贈与	五山并大徳、妙心、龍安、高台寺の諸僧	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	34	P.4 F.L.15~P.5 F.L.2
436	元和元	1615	玄番允某	贈与	豊臣秀頼	贈与(和陸)	鷹大緒十筋	『台徳院殿御実紀』	34	P.4 F.L.5~P.4 F.L.11
437	慶長19	1615	戸田采女王氏秋駿	献上	徳川家康	贈与	時服一	『台徳院殿御実紀』	26	P.665 F.L.24~P.665 F.L.1

近世初期上流武家における贈答染織品の実態に関する研究

438	慶長19	1615	黒田萬前守長政、松平武藏守利隆	献上	徳川家康	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	25	P.655 上 1.6~P.656 上 1.9
439	慶長19	1615	最上義河守家親	献上	徳川家康	贈与	絹五枚	『台徳院殿御実紀』	28	P.690 下 1.10~P.690 下 1.11
440	慶長19	1615	細川越中守忠興	献上	徳川家康	贈与	時服十領、轡子二十巻	『台徳院殿御実紀』	26	P.661 上 1.22~P.661 上 1.23
441	慶長19	1615	小笠原伊勢次郎政信	献上	徳川家康	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	27	P.673 上 1.17~P.673 下 1.19
442	慶長19	1615	松平駿次郎乗寿	献上	徳川家康	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	26	P.666 上 1.1~P.666 上 1.2
443	慶長19	1615	松平筑前守利常	献上	徳川秀忠	贈与	紅染絹二百四、白絹百四	『台徳院殿御実紀』	27	P.682 上 1.2~P.682 上 1.13
444	慶長19	1615	高森院尼、二位の局、餐場の局	献上	徳川家康	贈与	時服一襲、轡子二十巻	『台徳院殿御実紀』	33	P.755 上 1.13~P.755 上 1.17
445	元和元	1615	織田内府入道常真	献上	徳川家康	贈与	轡子十巻	『台徳院殿御実紀』	40	P.72 下 1.8~P.72 下 1.11
446	慶長19	1615	織田有楽入道、大野修理亮治長、とその他	献上	徳川秀忠	贈与(和談)	時服	『台徳院殿御実紀』	33	P.757 下 1.17~P.758 上 1.1
447	慶長19	1615	森右近大夫忠政、妹須賀阿波守至緒	献上	徳川家康	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	25	P.652 上 1.23~P.652 下 1.1
448	慶長19	1615	清浄華院、金成光明寺、龍松院、清寂院、真多院等の住僧	拝領	徳川秀忠	贈与	時服五	『台徳院殿御実紀』	29	P.713 下 1.3~P.731 下 1.5
449	慶長19	1615	生駒謙岐守正俊	献上	徳川家康	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	25	P.653 下 1.8~P.653 下 1.9
450	慶長19	1615	石河徳前入道宗林	献上	徳川秀忠	贈与	羽織	『台徳院殿御実紀』	31	P.714 下 1.22~P.715 上 1.3
451	慶長19	1615	仙石兵部少輔忠政	献上	徳川家康	贈与	絹五十四、時服(時服十領)	『台徳院殿御実紀』	27	P.671 下 1.3~P.671 下 1.5
452	慶長19	1615	浅野但馬守長晟	献上	徳川家康	贈与	時服一領	『台徳院殿御実紀』	25	P.650 上 1.10~P.650 上 1.13
453	慶長19	1615	増上寺存忠	献上	徳川秀忠	贈与	小袖	『台徳院殿御実紀』	30	P.719 上 1.21~P.719 上 1.9
454	慶長19	1615	大村丹後守義前	献上	徳川家康	贈与	轡子五巻	『台徳院殿御実紀』	26	P.659 上 1.15~P.659 上 1.16
455	元和元	1615	大野修理亮治長	贈与	豊后秀頼	贈与(和談)	羽二重十疋	『台徳院殿御実紀』	34	P.1 上 1.5~P.1 上 1.11
456	慶長19	1615	知恩院僧正	献上	徳川秀忠	贈与	小袖十	『台徳院殿御実紀』	30	P.719 上 1.21~P.719 上 1.9
457	慶長19	1615	相馬重後守忠	献上	徳川家康	贈与	黒羅紗	『台徳院殿御実紀』	25	P.657 上 1.26~P.657 上 1.19
458	慶長19	1615	島津玄馬忠興	献上	徳川家康	贈与	加羅雜物	『台徳院殿御実紀』	26	P.657 下 1.1~P.657 下 1.3
459	慶長19	1615	島津陸奥守家久	献上	徳川家康	贈与・交易	染絹(絹十)百四	『台徳院殿御実紀』	27	P.672 上 1.8~P.672 上 1.7
460	元和元	1615	島津陸奥守家久	献上	徳川秀忠	贈与	轡子五巻	『台徳院殿御実紀』	37	P.35 上 1.10~P.45 上 1.11
461	慶長19	1615	兵部頭義弘入道作新	献上	徳川家康	贈与・交易	染絹百四、絹轡子十巻	『台徳院殿御実紀』	27	P.672 上 1.5~P.672 下 1.7
462	元和元	1615	北方	下賜	尾張宰相義直卿、尾張宰相義直卿の母	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	35	P.14 下 1.15~P.14 下 1.22
463	慶長19	1615	妙吉内門	献上	徳川家康	贈与	轡子十領	『台徳院殿御実紀』	26	P.666 上 1.18~P.666 上 1.20
464	慶長19	1615	本右衛門大夫延俊	献上	徳川家康	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	25	P.659 上 1.6~P.659 上 1.7
465	慶長19	1615	有馬玄蕃頭豊氏	献上	徳川秀忠	贈与	時服五	『台徳院殿御実紀』	25	P.652 上 1.21~P.652 上 1.1
466	慶長19	1615	里見安房守忠義	献上	徳川家康	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	26	P.665 下 1.15
467	元和3	1617	横山山城守、本多安房守	献上	平筑前守利常	贈与	時服二十〜一	『台徳院殿御実紀』	46	P.128 下 1.1~P.124 上 1.8
468	元和3	1617	山形城主最上騏手家親の子義俊	献上	徳川秀忠	贈与	絹五百把	『台徳院殿御実紀』	45	P.127 上 1.16~P.128 上 1.2
469	元和3	1617	平筑前守利常	献上	徳川秀忠	贈与	時服百、給百、白糸百疋、紅糸百疋、轡子轡子十巻、銀金、白枚、絹手把	『台徳院殿御実紀』	46	P.128 下 1.1~P.124 上 1.8
470	元和6	1620	美作守忠宗	下賜	松平陸奥守政宗家臣の伊達女房	贈与	時服	『台徳院殿御実紀』	53	P.201 下 1.11~P.201 下 1.16
471	元和7	1621	細川内記忠利	献上	徳川秀忠	贈与	羽織五	『台徳院殿御実紀』	54	P.211 下 1.19~P.211 下 1.21
472	元和7	1621	松平内少輔忠雄	献上	徳川秀忠	贈与	羽織五	『台徳院殿御実紀』	54	P.212 下 1.7~P.212 下 1.10
473	元和7	1621	松平長門守秀就	献上	徳川秀忠	贈与	轡子三巻	『台徳院殿御実紀』	54	P.213 上 1.7~P.213 上 1.9
474	元和7	1621	松平飛騨守忠勝	献上	徳川秀忠	贈与	轡子三巻	『台徳院殿御実紀』	54	P.213 下 1.9~P.213 下 1.10
475	元和7	1621	森作守忠政	献上	徳川秀忠	贈与	轡子二巻	『台徳院殿御実紀』	54	P.212 下 1.7~P.212 下 1.10
476	元和7	1621	大村松千代経信	献上	徳川秀忠	贈与(暇)	時服	『台徳院殿御実紀』	54	P.214 下 1.21~P.214 下 1.21
477	元和7	1621	有馬玄蕃頭豊氏	献上	徳川秀忠	贈与	轡子三巻	『台徳院殿御実紀』	54	P.212 下 1.10~P.212 下 1.12
478	元和8	1622	水野日向守勝成	献上	徳川秀忠	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	56	P.235 上 1.15~P.235 上 1.22
479	元和9	1623	里見宰相忠長	贈与	尾張義直	贈与	小袖二十	『台徳院殿御実紀』	59	P.217 下 1.15~P.218 上 1.12
480	元和9	1623	徳川家光	下賜	尾張義直の母相成尼	贈与	絹二百把	『台徳院殿御実紀』	59	P.217 下 1.15~P.218 上 1.12
481	元和9	1623	徳川家光	下賜	尾張義直	贈与	小袖二十	『台徳院殿御実紀』	59	P.217 下 1.15~P.218 上 1.12
482	元和9	1623	徳川家光	下賜	里見宰相忠長	贈与	紅糸五十疋	『台徳院殿御実紀』	59	P.247 下 1.15~P.248 上 1.11
483	元和9	1623	徳川家光	下賜	尾張義直家臣の竹腰山城守正信等	贈与	小袖十	『台徳院殿御実紀』	59	P.247 下 1.15~P.248 上 1.12
484	元和9	1623	徳川家光	下賜	志木藏人忠政	贈与	時服五	『台徳院殿御実紀』	59	P.247 下 1.15~P.248 上 1.12
485	元和9	1623	宮倉木十頭具登	献上	女御(河中)	贈与	縹布百疋	『台徳院殿御実紀』	60	P.258 下 1.21~P.260 上 1.25
486	元和9	1623	松平十佐守忠義の男成之助忠義	献上	宮中	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	59	P.257 上 1.8~P.257 下 1.11
487	元和9	1623	前田利長	献上	徳川秀忠	贈与(和談)	時服百	『台徳院殿御実紀附録』	2	P.272 上 1.9~P.272 下 1.1
488	元和9	1623	尾張義直	献上	徳川秀忠	贈与	時服一領、轡子十巻、金襴一巻、白糸百疋、紅糸一疋、絹手把	『台徳院殿御実紀』	59	P.247 上 1.8~P.247 上 1.8
489	元和9	1623	尾張義直家臣の竹腰山城守正信等	献上	徳川家光	贈与	時服十	『台徳院殿御実紀』	59	P.247 下 1.15~P.248 上 1.12
490	水林〜元亀 頃か?	1558〜 1572?	徳川家康母	献上	徳川家康	贈与	御衣	『東照宮御実紀』	17	P.288 上 1.6~P.288 上 1.18
491	天正〜慶長 年間頃か?	1573〜1596 頃か?	大野修理亮治長	下賜	本多十野介正純	贈与(和談)	蓑衣	『東照宮御実紀』	14	P.261 上 1.3~P.261 上 1.13
492	慶長初期	1595年頃	前田利家	下賜	神谷信濃守、村井勘十郎など	贈与	小袖(衣袴雑子、道服(加加服、袴物、帯下袴)	『利家後記』	下	P.591 1.8~P.591 1.15

493	不明	不明	上杉景勝	下賜	村井豊後	贈答・返礼	小袖三ツ胴服二ツ、給	『利家夜話』	中	P.576 L.7～P.577 L.3
494	不明	不明	上杉景勝	下賜	徳山五兵衛方	贈答・返礼	小袖三ツ胴服一	『利家夜話』	中	P.576 L.7～P.577 L.3
495	不明	不明	上杉景勝	贈答	前田利家	贈与	羽織	『利家夜話』	中	P.576 L.7～P.577 L.3
496	不明	不明	大野修理治長	下賜	本多上野介正純	贈与(和時)	肩衣	『台徳院殿御実紀』	33	P.759 上 L.2～P.758 上 L.7
交易										
497	文禄2	1593	豊臣秀吉	下賜	明使	交易	辻が花染帷十重、鹿黄之表紋上品之帷二ツ	『太閤記』	15	P.436 L.5～P.437 L.7
498	文禄3	1594	豊臣秀吉	下賜	明使	交易	小袖二十重、帷子三十	『太閤記』	15	P.434 L.9～P.435 L.17
499	文禄3	1594	豊臣秀吉	下賜	明使の供	交易	帷子百、筒袖(胴服)百	『太閤記』	15	P.434 L.9～P.435 L.17
500	慶長8	1604	徳川家康	贈与	柬埔寨(カンボジア)	交易	鹿皮三百枚	『東照宮御実紀』	7	P.95 上 L.8～P.95 上 L.11
501	慶長13	1609	徳川家康	贈与	暹羅(シヤム・タイ)	交易	甲冑	『台徳院殿御実紀』	8	P.470 下 L.21～P.471 上 L.5
502	慶長10	1606	徳川秀忠	献上・交易	柬埔寨(カンボジア)	交易	虎皮	『台徳院殿御実紀』	2	P.397 上 L.11～P.397 上 L.13
503	慶長13	1609	徳川秀忠	献上	呂宋(ルソン)	交易	甲冑二箇	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 下 L.2～P.463 下 L.1
504	慶長16	1612	徳川秀忠	贈与	占城国王夫人	交易	衣服	『台徳院殿御実紀』	17	P.503 下 L.6～P.503 下 L.8
505	元和7	1621	徳川秀忠	贈与	暹羅(シヤム・タイ)使者	交易	小袖十一つ、小袖五、小袖一つつ	『台徳院殿御実紀』	54	P.216 上 L.14～P.216 下 L.8
506	慶長元	1595	スペイン船	贈与	豊臣秀吉	交易	上々縹子、むれう五万端、唐木綿二十六万端、金縹・純子(縹白)五万端、白糸十六万斤	『太閤記』	16	P.386 L.11～P.388 L.15
507	慶長元	1595	明国王	贈与	豊臣秀吉	交易	金縹百巻、段子(縹子)同、縹百端、縹五十巻、縹子二白巻、早練(紗縹)二百端、虎皮三十枚、豹皮同、唐革同、猩々皮同	『太閤記』	16	P.381 L.13～P.386 L.14
508	慶長11	1607	朝鮮国王	贈与	徳川秀忠	交易	絹段二百疋、白苧布三十疋、白綿布五十疋、黒麻布三十疋、虎皮三十張、豹皮三十張	『台徳院殿御実紀』	5	P.435 下 L.11～P.436 上 L.11
509	慶長11	1607	朝鮮国王	贈与	本多佐護守正信	交易	虎皮三張、白綿布十四、白苧布十疋	『台徳院殿御実紀』	5	P.435 下 L.11～P.436 上 L.11
510	慶長11	1607	柬埔寨(カンボジア)	献上	徳川秀忠	交易	白絹五匹	『台徳院殿御実紀』	4	P.418 下 L.9～P.416 下 L.15
511	慶長12	1608	朝鮮通信使	贈与	徳川家康	交易	白苧布三十疋	『台徳院殿御実紀』	5	P.434 上 L.20～P.437 下 L.7
512	慶長13	1609	呂宋王(ルソン)	献上	徳川秀忠	交易	金縹五端、縹緞子三端、縹子五端、猩々縹一丈二尺、かひん殿子一端、縹子三端、洋天連手巾三、るいす縹緞十端、金縹二端、縹子一端	『台徳院殿御実紀』	8	P.463 下 L.6～P.463 下 L.10
513	慶長13	1609	呂宋王(ルソン)	献上	徳川秀忠	交易	甲冑二箇	『台徳院殿御実紀』	8	P.464 上 L.2～P.464 下 L.12
514	慶長14	1610	呂宋(ルソン)	贈与	徳川秀忠	交易	金縹三端、縹子七端、縹緞三端、縹緞三端、純子五端	『台徳院殿御実紀』	11	P.497 上 L.13～P.497 上 L.15
515	慶長14	1610	阿蘭(オランダ)国王	贈与	徳川秀忠	交易	糸三百五十斤	『台徳院殿御実紀』	10	P.489 上 L.13～P.489 上 L.15
516	慶長15	1611	京の人田中藤助	献上	徳川秀忠	交易	濃児須霞(メキシコ)から輸入した紫羅紗	『台徳院殿御実紀』	16	P.561 上 L.3～P.561 上 L.6
517	慶長17	1613	呂宋(ルソン)の船主 甄子(ルイス)	贈与	徳川家康	交易	縹子	『台徳院殿御実紀』	19	P.595 上 L.13～P.595 上 L.18
518	慶長17	1613	角倉興一玄之	献上	徳川家康	交易	紅糸、縹紗縹	『台徳院殿御実紀』	20	P.596 下 L.11～P.596 下 L.13
519	慶長17	1613	後藤庄三郎光次	献上	徳川家康	交易	白糸十四万斤、猩々縹、縹緞、縹子等	『台徳院殿御実紀』	19	P.595 上 L.13～P.595 上 L.18
520	慶長17	1613	暹羅(シヤム)の商客	贈与	徳川家康	交易	縹子、縹緞、縹子等	『台徳院殿御実紀』	19	P.593 上 L.3～P.593 上 L.5
521	慶長17	1613	濃児須霞(メキシコ)	贈与	徳川秀忠	交易	縹物一端、金縹緒一端	『台徳院殿御実紀』	19	P.588 下 L.21～P.589 上 L.8
522	慶長18	1614	南蛮人等	贈与	徳川家康	交易	猩々縹	『台徳院殿御実紀』	22	P.629 上 L.2～P.629 上 L.7
523	慶長19	1615	蘭人(オランダ人)	贈与	徳川秀忠	交易	白糸、木綿、縹子	『台徳院殿御実紀』	27	P.638 下 L.13～P.638 下 L.6
524	慶長19	1615	安南国王(ベトナム)	贈与	徳川秀忠	交易	白絹十四	『台徳院殿御実紀』	27	P.638 下 L.10～P.638 下 L.21
525	元和3	1617	朝鮮国王	贈与	徳川秀忠	交易	虎皮三十張、豹皮三十張、金縹三十疋、花縹口五十疋、絹段百疋、白苧布五十疋、白綿五十疋、黒麻布二十枚	『台徳院殿御実紀』	46	P.134 下 L.9～P.135 上 L.21
526	元和3	1617	朝鮮国王	贈与	徳川秀忠	交易	虎皮三張、絹段十四	『台徳院殿御実紀』	46	P.135 下 L.7～P.135 下 L.16
527	元和8	1622	朝鮮国使者	贈与	対馬守義成	交易	白苧布三十四、白綿緞三十四、虎皮三張、豹皮一張、縹布五千匹	『台徳院殿御実紀』	56	P.228 下 L.2～P.228 下 L.9
528	元和8	1622	朝鮮国使者	贈与	対馬守義成の家臣	交易	白苧布三十四、白綿緞三十四、虎皮一張、縹布五千匹	『台徳院殿御実紀』	56	P.228 下 L.2～P.228 下 L.9
その他										
529	不明	不明	前田利家	下賜	神谷源右衛門	褒章	筒袖(胴服)	『利家夜話』	中	P.577 L.3～P.577 L.11
530	永禄年間頃	1558～1570	織田信長	下賜	力士や鷹匠	褒章	小袖、帷子	『太閤記』	1	P.15 L.8～P.15 L.11
531	元龜元	1570	織田信長	下賜	力士	褒章	御服	『信長公記』	3	P.61 L.3～P.61 L.10

近世初期上流武家における贈答染織品の実態に関する研究

532	天正5	1577	織田信長	下賜	越前玄蕃(鷹匠)	褒章	御服一重	『信長公記』	10	P.136 L.29~P.137 L.3
533	天正6	1578	織田信長	下賜	力主	褒章	御服	『信長公記』	11	P.131 L.2~P.131 L.10
534	天正6	1578	織田信長	下賜	山田、広葉(鷹匠)	褒章	御服	『信長公記』	11	P.136 L.11~P.136 L.12
535	天正6	1578	織田信長	下賜	力主(東馬三郎、たいざら、つづ、おけ、ら十人)	褒章	御服	『信長公記』	11	P.136 L.15~P.138 L.3
536	天正6	1578	織田信長	下賜	九鬼嘉隆	褒章	御服一	『信長公記』	11	P.138 L.12~P.139 L.6
537	天正6	1578	織田信長	下賜	大崎助三、渡邊佐内、伊藤藤太夫	褒章	御服	『信長公記』	11	P.138 L.12~P.139 L.6
538	天正7	1579	織田信長	下賜	石田主計(鷹匠)	褒章	御服五ツ	『信長公記』	12	P.167 L.15~P.168 L.3
539	天正7	1579	織田信長	下賜	伴正林(力主)	褒章	小袖	『信長公記』	12	P.168 L.8~P.168 L.11
540	天正7	1579	織田信長	下賜	塩河助十郎(鷹匠)	褒章(贈与)	道袍(御服)	『信長公記』	12	P.168 L.3~P.168 L.4
541	天正8	1580	織田信長	下賜	狩野永徳、息右京尉 木村次郎左衛門、木村藤五、岡邊又右衛門、河内源三、松村、後藤平四郎、刑部、新七、奈良大工諸職大頭	褒章	御小袖余多	『信長公記』	14	P.220 L.1~P.220 L.6
542	天正14	1586	豊臣秀吉	下賜	太夫と座の者	褒章	小袖二重、小袖一重	『太閤記』	10	P.236 L.1~P.236 L.4
543	文禄元	1592	豊臣秀吉	下賜	太夫と座の者	褒章	御服おびただしく	『太閤記』	14	P.288 L.1~P.287 L.6
544	文禄2	1593	豊臣秀吉	下賜	岡田将監、内藤飛騨守	褒章	御帷一十	『太閤記』	15	P.17 L.7~P.147 L.10
545	文禄2	1593	豊臣秀吉	下賜	太夫	褒章	唐織紫之御紋付たる御小袖二重	『太閤記』	14	P.102 L.3~P.103 L.5
546	文禄2	1593	豊臣秀吉	下賜	座の者	褒章	御服	『太閤記』	14	P.102 L.3~P.103 L.5
547	天正~慶長年間頃か?	1573~1596頃か?	徳川家康	下賜	村越茂助直吉	褒章	細志の御羽織	『東照宮御実紀』	18	P.304 L.1,31~P.304 L.1,11
548	慶長年間頃か?	1596~1614頃か?	徳川家康	下賜	神前院梵誓	褒章	布帛	『東照宮御実紀』	22	P.342 L.1,13~P.342 L.1,16
549	慶長4	1600	徳川家康	下賜	増田右衛門尉長盛	褒章	時服	『東照宮御実紀』	24	P.362 L.2~P.362 L.2,22
550	慶長4	1600	徳川家康	下賜	鷹匠たち	褒章	閑束絹	『東照宮御実紀』	24	P.362 L.2~P.362 L.2,22
551	慶長7	1603	徳川家康	下賜	龍溪神珠庵松(足利学校第十代校長)	褒章	時服	『東照宮御実紀』	22	P.312 L.2,23~P.312 L.2,3
552	慶長9	1605	徳川家康	下賜	龍溪神珠庵松(足利学校主僧)	褒章	時服	『東照宮御実紀』	8	P.103 L.1,5~P.103 L.1,5
553	慶長12	1608	徳川家康	下賜	遠藤田馬守慶隆	褒章	御服羽織	『台徳院殿御実紀』	6	P.113 L.1,24~P.113 L.1,9
554	慶長12	1608	徳川家康	下賜	高木主水清秀入道性順	褒章	時服	『台徳院殿御実紀』	6	P.115 L.8~P.115 L.12
555	慶長12	1608	徳川家康	下賜	松平内守定行	褒章	綿子	『台徳院殿御実紀』	6	P.150 L.12~P.150 L.16
556	慶長13	1609	徳川家康	献上	竹中丹後守重門(元信濃国木曾山の材木奉行)	褒章	時服、羽織	『台徳院殿御実紀』	8	P.166 L.6~P.166 L.10
557	慶長15	1611	徳川家康	下賜	長崎伊豆守元家	褒章	帷子一襲	『台徳院殿御実紀』	12	P.521 L.11~P.521 L.14
558	慶長15	1611	徳川家康	下賜	高木 清秀	褒章	時服、羽織錦の道服(御服)	『台徳院殿御実紀』	13	P.533 L.4~P.532 L.14
559	慶長19	1615	徳川家康	下賜	勝山の安楽寺住僧	褒章	時服一襲	『台徳院殿御実紀』	29	P.701 L.2,23~P.701 L.5
560	慶長19	1615	徳川家康	下賜	幸若太夫	褒章(贈与・纏頭)	時服	『台徳院殿御実紀』	27	P.669 L.21~P.670 L.1,3
561	元和年間頃	1615~23頃	徳川家康	下賜	龍溪神珠庵松(足利学校第十代校長)	褒章	時服	『東照宮御実紀』	22	P.311 L.1,17~P.311 L.1,21
562	元和2	1616	徳川家康	下賜	時屋五郎兵衛正成(鷹匠)	褒章(贈与・遺品)	時服	『台徳院殿御実紀』	42	P.97 L.1,11~P.97 L.1,12
563	元和2	1616	徳川家康	下賜	医官吉田意安玄略	褒章(贈与・遺品)	時服 一	『台徳院殿御実紀』	42	P.97 L.1,12~P.97 L.1,13
564	不明	—	徳川家康	下賜	御城門番兵	褒章	衣服など	『東照宮御実紀』	24	P.363 L.1,13~P.363 L.1,20
565	慶長8	1604	徳川秀忠	下賜	佐野修理大夫信吉	褒章	時服	『東照宮御実紀』	5	P.50 L.1,17~21
566	慶長15	1611	徳川秀忠	下賜	贈物奉行野々山新兵衛兼綱	褒章	御衣	『台徳院殿御実紀』	14	P.538 L.1,12
567	慶長15	1611	徳川秀忠	下賜	小浜民部少輔光隆、向井時監忠勝、久木源兵衛重勝	褒章	時服	『台徳院殿御実紀』	14	P.538 L.1,12~P.538 L.1,18
568	慶長15	1611	徳川家康	下賜	金春太夫	褒章(贈与・纏頭)	被物一箇	『台徳院殿御実紀』	16	P.560 L.1,22~P.560 L.1,4
569	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	金春太夫	褒章(贈与・纏頭)、年中行事(誦曲始め)	時服	『台徳院殿御実紀』	17	P.566 L.1,24~P.566 L.1,24
570	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	金春太夫	褒章(贈与・纏頭)	時服 一襲	『台徳院殿御実紀』	16	P.561 L.1,23~P.562 L.1,2
571	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	金春太夫	褒章(贈与・纏頭)	時服 一襲	『台徳院殿御実紀』	16	P.563 L.1,1~P.563 L.1,7
572	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	金春座の者六十人余	褒章(贈与・纏頭)	時服	『台徳院殿御実紀』	16	P.564 L.1,1~P.564 L.1,7
573	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	金春、金剛、実生等能大夫	褒章(贈与・纏頭)	唐織小袖一襲つづ、其外へも被物一襲つづ	『台徳院殿御実紀』	17	P.565 L.1,4~P.565 L.1,11
574	慶長16	1612	徳川秀忠	下賜	金春太夫	褒章(贈与・纏頭)	時服	『台徳院殿御実紀』	18	P.582 L.1,12~P.582 L.1,15
575	慶長17	1613	南都真多院	下賜	不明	不明	時服	『台徳院殿御実紀』	19	P.590 L.1,22~P.590 L.1,23
576	慶長18	1614	徳川秀忠	下賜	龍世梅若太夫等	褒章(贈与・纏頭)、年中行事(誦曲始め)	時服 一襲つづ	『台徳院殿御実紀』	20	P.608 L.1,3~P.608 L.1,7
577	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	横山五右衛門(南部信濃守利直家臣)	褒章	時服銀	『台徳院殿御実紀』	26	P.662 L.1,9~P.662 L.1,11
578	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	松平陸奥守政宗	褒章	帷子	『台徳院殿御実紀』	27	P.663 L.1,23~P.664 L.1,1
579	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	江城修業にあづかりの諸侯	褒章	小袖五斗、小袖三斗	『台徳院殿御実紀』	26	P.682 L.1,18~P.682 L.1,21
580	慶長19	1615	徳川秀忠	下賜	小島庄兵衛	褒章	時服	『台徳院殿御実紀』	28	P.684 L.1,21~P.689 L.1,23
581	元和元	1615	徳川秀忠	下賜	梅大夫	褒章(贈与・纏頭)	能装束一具	『台徳院殿御実紀』	38	P.715 L.1,9~P.715 L.1,14

共立女子大学家政学部紀要 第58号 (2012)

582	元和元	1615	徳川秀忠	下賜 能大夫	褒章(贈与・職頭)	唐織時服	『台徳院殿御実紀』	39	P.54 下 L.11~P.59 下 L.15
583	元和2	1616	徳川秀忠	下賜 森川出羽重俊、幸和忠直、 輝成	褒章(職頭)	時服	『台徳院殿御実紀』	41	P.83 上 L.14~P.84 下 L.13
584	元和3	1617	徳川秀忠	下賜 高力摂津守忠房の妻、子 左近高長	褒章	時服	『台徳院殿御実紀』	44	P.124 上 L.1~P.124 上 L.7
585	元和2	1616	徳川秀忠	下賜 落合小平治道次	褒章	時服	『台徳院殿御実紀』	41	P.86 下 L.2~P.86 下 L.8
586	元和3	1617	徳川秀忠	下賜 置司太閤信尚公	褒章	時服	『台徳院殿御実紀』	46	P.130 下 L.15~P.130 下 L.20
587	元和3	1617	徳川秀忠	下賜 猿楽四座の大夫、役者	褒章(贈与・職頭)	唐織の小袖、小袖	『台徳院殿御実紀』	46	P.128 下 L.1~P.129 上 L.8
588	元和5	1619	徳川秀忠	下賜 戸田左門氏鉄の妻	褒章	小袖	『台徳院殿御実紀』	51	P.176 上 L.6~P.176 上 L.10
589	元和5	1619	徳川秀忠	下賜 東大賣福向寺の僧	褒章	時服一襲づつ	『台徳院殿御実紀』	51	P.176 下 L.8~P.176 下 L.12
590	元和6	1620	徳川秀忠	下賜 茶道頭中野了雲台子	褒章	時服	『台徳院殿御実紀』	52	P.190 下 L.7~P.190 下 L.9
591	元和6	1620	徳川秀忠	下賜 医員會谷伯安宗祐	褒章	時服十、羽織	『台徳院殿御実紀』	52	P.190 下 L.9~P.190 下 L.21
592	元和8	1622	徳川秀忠	下賜 新庄越前守直好	褒章	時服及羽織	『台徳院殿御実紀』	56	P.226 下 L.3~P.226 下 L.5
593	元和9	1623	徳川秀忠	下賜 中山勘解由照守	褒章	御羽織	『台徳院殿御実紀附録』	4	P.290 下 L.10~P.290 下 L.21
594	元和9	1623	徳川秀忠	下賜 観世左近	褒章(贈与・職頭)	屏衣	『台徳院殿御実紀附録』	3	P.279 上 L.1~P.280 上 L.14
595	天正7	1580	佐竹太はら	下賜 幸若丸三大夫	褒章(職頭)	厚板の織物	『東照宮御実紀』	3	P.161 下 L.22~P.162 上 L.8
596	天正16	1588	小早川秀秋	下賜 太夫	褒章	御衣二重	『太閤記』	11	P.290 L.11~P.300 L.4
597	天正16	1588	北政所	下賜 座の者	褒章	御衣一重	『太閤記』	11	P.290 L.11~P.300 L.4
598	慶長11	1607	加藤清正	下賜 観世大夫	褒章	唐織薄板等、実服	『台徳院殿御実紀』	4	P.415 下 L.17~P.415 下 L.20
599	慶長17	1613	高力摂津守忠房と母	下賜 徳川家康	褒章	時服	『台徳院殿御実紀』	20	P.602 下 L.19~P.603 上 L.1
600	元和2	1616	御三家(尾張・水戸・紀伊)	下賜 猿楽大夫	褒章(贈与・職頭)、年中行事 (謡曲始め)	時服	『台徳院殿御実紀』	41	P.84 下 L.16~P.85 下 L.7
601	元和2	1616	御三家(尾張・水戸・紀伊)	下賜 猿楽大夫	褒章(贈与・職頭)、年中行事 (謡曲始め)	屏衣	『台徳院殿御実紀』	41	P.84 下 L.16~P.85 下 L.7
602	元和6	1620	徳川秀忠の娘和子	下賜 土井左兵衛正次	褒章	夏衣	『台徳院殿御実紀』	52	P.190 下 L.9~P.190 下 L.21
603	元和9	1623	尾張義直	下賜 尾張義直家臣	褒章	時服	『台徳院殿御実紀』	59	P.247 上 L.3~P.247 下 L.8